

泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書
(令和7年5月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
[1]	海域調査	5
(1)	水質	5
①	日調査	5
②	週調査	5
③	月調査	5
④	年4回調査	6
(2)	海生生物	9
①	年4回調査	9
2	環境監視結果	11
	海域調査結果	11
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	13
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	15
	基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果[月調査・年4回調査](表1-4)	16
	一般項目及び生活環境項目	16
	特殊項目	17
	健康項目	18
	ダイオキシン類	19
	植物プランクトン調査結果(表1-5)	20
	動物プランクトン調査結果(表1-6)	21
	魚卵調査結果(表1-7)	22
	稚仔魚調査結果(表1-8)	22
	底生生物調査結果(表1-9)	23
	付着生物観察結果(表1-10, 図1-2)	24
	漁業生物調査結果(表1-11)	28

Ⅱ	大阪基地	29
1	環境監視結果の概要	31
1.1	環境監視の実施状況	31
1.2	環境監視の結果	31
(1)	交通量	31
(2)	騒音・振動	32
(3)	大気質	32
	環境監視調査地点位置図(図2-1)	34
2	環境監視結果	35
	監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表2-1)	35
	交通量・騒音・振動調査結果(表2-2)	36
	大気質調査結果(表2-3～9, 図2-2～6)	37
Ⅲ	堺基地	45
1	環境監視結果の概要	47
1.1	環境監視の実施状況	47
1.2	環境監視の結果	47
(1)	交通量	47
(2)	騒音・振動	48
(3)	大気質	49
	環境監視調査地点位置図(図3-1)	50
2	環境監視結果	51
	監視結果総括(交通量、騒音・振動、大気質)(表3-1)	51
	交通量・騒音・振動調査結果(表3-2)	52
	大気質調査結果(表3-3～9, 図3-2～6)	53

I 泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地

1 環境監視結果の概要

1.1 処分場の受入量

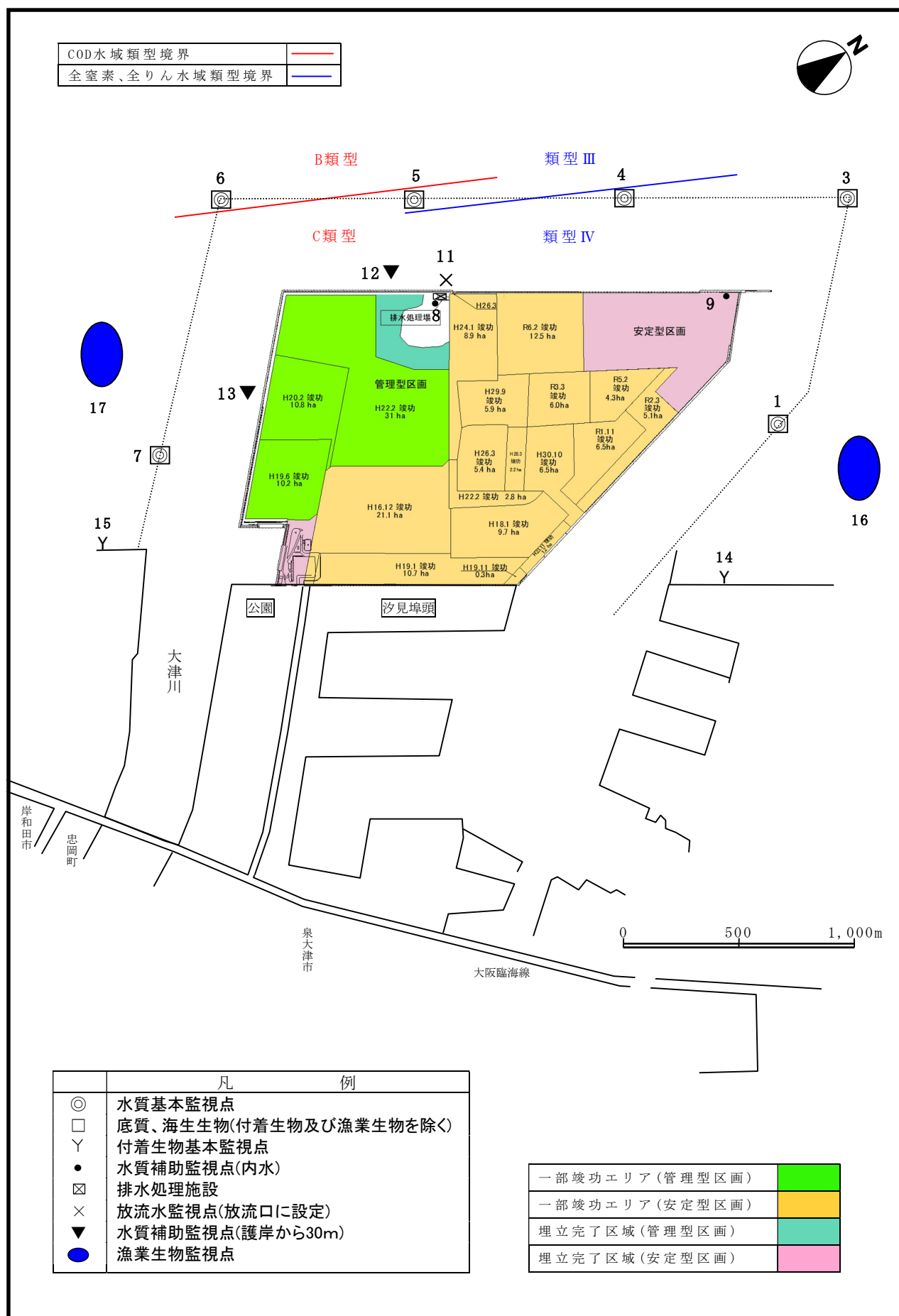
令和7年5月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入れ状況は表1－1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、直接投入の陸上残土 15,632.0 t (残土15,363.0 t、購入残土269.0t)の受入れを行った。

なお、泉大津基地への陸上輸送による陸上残土の受け入れは令和7年3月に終了した。

表 1－1 廃棄物等の受入れ状況（令和7年5月分）

(単位：t)

廃棄物の種類			大阪 基地	堺基地	和歌山 基地	泉大津 基地	泉大津沖埋立処分場		
							直接投入	埋立処分量	
一般 廃棄物	可燃ごみ（焼却灰）		11,718.0	8,109.2	1,712.7	—	—	—	
	ばいじん処理物		3,351.9	5,173.0	570.3	—	—	—	
	不燃・粗大ごみ		161.1	421.7	33.2	—	—	—	
	し尿処理汚泥			6.1	5.4	—	—	—	
	溶融処理物					—	—	—	
合 計			15,231.0	13,710.0	2,321.6	—	—	—	
産 業 廃 棄 物	汚 泥	上水汚泥	111.0	39.0	395.4	—	—	—	
		下水汚泥	400.1	1,379.9	61.1	—	—	—	
		合 計		511.1	1,418.9	456.5	—	—	—
	民 間 産 業 廃 棄 物	産 管	燃え殻	199.0	243.7	18.7	—	—	—
			汚泥	1,313.9	5,266.3	18.1	—	—	—
			鉱さい	676.5	291.7	2,408.7	—	—	—
			ばいじん	89.8	163.2	323.8	—	—	—
		理	その他の廃棄物	194.1	6.0		—	—	—
			廃プラスチック	123.1			—	—	—
			ゴムくず				—	—	—
			金属くず			3.9	—	—	—
		廃 型	ガラス陶磁器くず	426.0		61.9	—	—	—
			がれき類	2,435.5		919.0	—	—	—
			小 計	5,457.9	5,970.9	3,754.1	—	—	—
		産 安 定	廃プラスチック	—	—	—	—	—	—
			ゴムくず	—	—	—	—	—	—
			金属くず	—	—	—	—	—	—
			ガラス陶磁器くず	—	—	—	—	—	—
		廃 型	がれき類	—	—	—	—	—	—
			小 計	—	—	—	—	—	—
	合 計		5,457.9	5,970.9	3,754.1	—	—	—	
	合 計			5,969.0	7,389.8	4,210.6	—	—	—
陸上残土	安 定 型	残土	—	—	—	0.0	15,363.0	15,363.0	
		購入残土	—	—	—		269.0	269.0	
		小 計	—	—	—	0.0	15,632.0	15,632.0	
	管 理 型	残土	6,040.3	92.9	—				
		購入残土	—	—	—				
		小 計	6,040.3	92.9	—				
浚渫土砂	安 定 型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
		小 計	—	—	—	—	—	—	
	管 理 型	浚渫土砂	—	—	—	—	—	—	
		無料浚土	—	—	—	—	—	—	
		小 計	—	—	—	—	—	—	
総 計			27,240.3	21,192.7	6,532.2	0.0	15,632.0	15,632.0	
(埋立量内訳)					振替量（安定型⇒管理型）		—	管理型	—
								安定型	15,632.0



注：残土のみの受入であり、ポンド部の投入はなく、覆土の作業のみを行った。

図 1-1 環境監視調査地点位置図（泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地：令和7年5月）

1.2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年5月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度, 水温, COD(化学的酸素要求量), DO(溶存酸素量), pH(水素イオン濃度)	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11)	1 地点	連続測定	5/1～31
	SS(浮遊物質), 全窒素			週 1 回	5/8, 13, 20, 27
	COD, pH			月 1 回	5/8
	クロロフィルa, 塩分, FSS(不揮発性懸濁物質)			年 1 回	—
	透明度, 水温, SS, COD, DO, pH	管理型区画内水 (St. 8)	2 地点	週 1 回	5/8, 13, 20, 27
	クロロフィルa, FSS, 塩分			年 4 回	5/8
	濁度, 透明度, 水温 SS, クロロフィルa, FSS, 塩分, COD, DO, pH	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8 地点	月 1 回	5/8
	全窒素, 全燐, 大腸菌数, ノルマルヘキサン抽出物質	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11)	10 地点	年 4 回	5/8
	フェノール類, 銅, 亜鉛, 総クロム, 溶解性鉄, 溶解性マンガン, 硝酸性窒素, 亜硝酸性窒素	管理型区画内水 (St. 8) 基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)			
	有機燐, ほう素	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11) 管理型区画内水 (St. 8)	2 地点	年 4 回	5/8
	カドミウム, 全シアン, 鉛, 六価クロム, 砒素, 総水銀, アルキル水銀, PCB, シクロメタン, 四塩化炭素, 1, 2-シクロエタン, 1, 1-シクロエチレン, シス-1, 2-シクロエチレン, 1, 1, 1-トリクロロエタン, 1, 1, 2-トリクロロエタン, トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, 1, 3-シクロプロパン, (チラウム, シマジン, チオベンカルブ) ^(注2) ベンゼン, セレン, 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素, ふっ素, 1, 4-シオキサジン, アンモニア等 ^(注3)	管理型排水処理 施設放流水 (St. 11) 管理型区画内水 (St. 8)	2 地点	年 4 回	5/8
	クロロエチレン, 1, 2-シクロエチレン	基本監視点 (St. 1, 3～7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8 地点	年 2 回	—
	ダイオキシン類	補助監視点 (St. 12, 13) 管理型排水処理 施設放流水 (St. 11) 補助監視点(内水) (St. 8)	2 地点	年 2 回	—
			4 地点	年 4 回	5/8

注:1. St.9は埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

2. チラウム, シマジン, チオベンカルブは7月に調査を実施する。

3. アンモニア等は、アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物を示す。

環境項目	測 定・調 査 項 目	測 定 点	測定点数	頻 度	実 施 日
底 質	含水率，粒度組成， COD，強熱減量， 全窒素，硫化物， 全燐，カドミウム，シアン， 有機燐，鉛，六価クロム， PCB，砒素，総水銀， アルキル水銀，トリクロエチレン， テトラクロエチレン， 銅，亜鉛，ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 2 回	—
海生生物	底生生物，プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3～7)	6 地点	年 4 回	5/8～9
	魚卵・稚仔魚				5/9
	付着生物	St. 14, 15	2 地点		5/9
	漁業生物	St. 16, 17	2 地点		5/8～9
悪 臭	臭気強度，臭気濃度	D 1、D 2	2 地点 風上・風下	年 2 回	—
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1 地点	年 1 回	—
発生ガス	メタン濃度	F 1、F 2	2 地点	年 2 回	—

1.3 環境監視の結果

〔 1 〕 海域調査

(1) 水質

水質の調査結果を表 1－2～表 1－4 に示す。

① 日 調 査

放流水（表 1－2）

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

濁度は <1～4度(カリン)、CODは 18～20mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは 7.7～8.5 (管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

② 週 調 査

内 水（表 1－3）

〔管理型区画内水(St. 8)〕

SSは <1～3mg/L、CODは 18～20mg/Lであった。

〔安定型区画内水(St. 9)〕

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

放流水（表 1－3）

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

放流水のSSは <1～5mg/L（管理基準値50mg/L）であった。

③ 月 調 査

海 域（表 1－4 (1)）

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

（表層）

濁度は全監視点 <1度(カリン)（目安値 11度(カリン)）、FSSは全監視点 <1mg/L（監視基準値 5mg/L）、CODは 2.5～3.3mg/L、DOは 8.4～9.4mg/L、pHは 8.1～8.3であり、特に問題のない結果であった。

（底層）

濁度は <1～1度(カリン)（目安値 9度(カリン)）、FSSは 1～2mg/L（監視基準値 7 mg/L）、CODは 1.9～2.3mg/L、DOは 6.0～7.2mg/L、pHは 7.9～8.0であり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 5, 7 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0~8.3)

St. 6 : B 類型 (COD 3 mg/L 以下、D0 5 mg/L 以上、pH 7.8~8.3)

[補助監視点(St. 12, 13)]

(表層)

CODは 2.4及び2.0mg/L、D0は 9.0及び8.5mg/L、pHは 8.2及び8.1で、C類型環境基準を満足していた。

(底層)

CODは 2.2及び2.4mg/L、D0は 6.2及び6.9mg/L、pHは両監視点ともに 8.0で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C 類型 (COD 8 mg/L 以下、D0 2 mg/L 以上、pH 7.0~8.3)

放流水 (表 1 - 4 (1))

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは 17mg/L (管理基準値60mg/L)、pHは 7.8 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は 32mg/L (管理基準値60mg/L) であった。

④ 年 4 回 調 査

海 域 (表 1 - 4 (1) ~ (2) 、表 1 - 4 (4))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.41~0.65mg/L、全磷は 0.032~0.040mg/L、大腸菌数は <1~24CFU/100ml、ノルマルヘキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は 0.46~0.53mg/L、全磷は 0.022~0.037mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 7 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全磷 0.09 mg/L 以下)

St. 5, 6 : 類型Ⅲ (全窒素 0.6 mg/L 以下、全磷 0.05 mg/L 以下)

St. 1, 3~7 : 大腸菌数 (B・C類型は基準なし)

St. 6 : n-ヘキサン抽出物質 (B類型 検出されないこと。C類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

銅は <0.001～0.001mg/L、亜鉛は 0.003～0.005mg/L、溶解性鉄は 0.01～0.02mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は 0.002～0.004mg/L、溶解性鉄は全監視点 0.01mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は 0.62及び0.42mg/L、全リンは 0.031及び0.039mg/L、大腸菌数は 4及び10CFU/100ml、ノルマルヘキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は 0.49及び0.35mg/L、全リンは 0.024及び0.026mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全リン 0.09 mg/L 以下)

C 類型 (大腸菌数 基準なし、n-ヘキサン抽出物質 基準なし)

(特殊項目)

(表層)

銅は 0.002及び<0.001mg/L、亜鉛は 0.016及び0.004mg/L、溶解性鉄は 0.01及び0.02mg/L、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は 0.009及び0.004mg/L、溶解性鉄は両監視点ともに 0.01mg/L、硝酸性窒素は 0.09及び<0.04mg/Lであり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は 0.16及び0.17pg-TEQ/L (SSは 3及び2mg/L)であり、環境基準(1pg-TEQ/L以下)を満足していた。

内 水（表 1－4（1）～（4））

〔管理型区画内水(St. 8)〕

（一般項目）

FSSは <1mg/Lであった。

（生活環境項目）

全窒素は 32mg/L、全リンは 0.022mg/Lであり、大腸菌数、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

（特殊項目）

フェノール類は 0.03mg/L、亜鉛は 0.011mg/L、溶解性マンガンは 0.09mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

ほう素は 1.3mg/L、ふっ素は 1.6mg/L、アンモニア等は 12mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は 0.010pg-TEQ/Lであり、SSは 報告下限値未満であった。

放 流 水（表 1－4（1）～（4））

〔管理型排水処理施設放流水(St. 11)〕

（生活環境項目）

全窒素は 32mg/L（管理基準値60mg/L）、全リンは 0.021mg/L（管理基準値8mg/L）であり、大腸菌数、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

（特殊項目）

フェノール類は 0.02mg/L、亜鉛は 0.012mg/L、溶解性マンガンは 0.09mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

ほう素は 1.2mg/L、ふっ素は 1.6mg/L、アンモニア等は 13mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は 0.00015pg-TEQ/L、SSは 1mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値（10 pg-TEQ/L）、さらにSSの管理基準値（50mg/L）を下回っていた。

(2) 海生生物

海生生物の調査結果を表 1-5～表 1-11 及び図 1-2 に示す。

① 年 4 回調査

ア) 植物プランクトン (表 1-5 (1)～(2))

種類数が表層では 25～35 種類 (総種類数 54 種類)、底層では 29～35 種類 (総種類数 59 種類) の範囲にあり、細胞数は表層では 789～1,537 細胞/mL、底層では 297～1,461 細胞/mL の範囲であった。

イ) 動物プランクトン (表 1-6)

種類数が 32～41 種類 (総種類数 50 種類) の範囲にあり、個体数は 114,938～227,907 個体/m³ の範囲であった。

ウ) 魚卵 (表 1-7)

種類数が 3～5 種類 (総種類数 5 種類) であり、個数は 9,730～66,317 個/1,000 m³ の範囲であった。

エ) 稚仔魚 (表 1-8)

種類数が 6～9 種類 (総種類数 11 種類) の範囲にあり、個体数は 247～791 個体/1,000 m³ の範囲であった。

オ) 底生生物 (表 1-9)

種類数が 6～19 種類 (総種類数 31 種類) の範囲にあり、個体数は 61～373 個体/0.1 m² の範囲であった。

カ) 付着生物 (表 1-10 (1)～(4)、図 1-2)

[ベルトトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点 14 で 17 種類、調査点 15 で 14 種類、動物が調査点 14 で 24 種類、調査点 15 で 27 種類観察された。

鉛直分布では調査点 14 及び 15 とともに、植物のムカデノリが広範囲にみられ、動物のカンザシゴカイ科が広範囲に被覆していた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で 3～8 種類 (総種類数 14 種類) の範囲にあり、湿重量は 0.3 g～360.5 g/0.09 m² であった。動物は種類数が両地点で 33～57 種類 (総種類数 102 種類) の範囲にあり、個体数は 186～2,472 個体/0.09 m²、湿重量は 17.3～188.1 g/0.09 m² の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表 1-11(1)～(2))

種類数は調査点16が 4種類、調査点17が 7種類 (総種類数8種類)、個体数では調査点16が 11個体/網、調査点17が 105個体/網、さらに湿重量では調査点16が 1,595.7 g /網、調査点17が 20,412.6 g /網であった。

2 環境監視結果

海 域 調 査 結 果

表 1 - 2 放流水の測定結果 [日調査] (令和7年5月)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(木)	<1 ~ 1 (<1)	18.2 ~ 19.3 (18.7)	19 ~ 20 (19)	7.8 ~ 8.4 (8.1)	7.9 ~ 7.9 (-)
2(金)	<1 ~ 1 (<1)	18.4 ~ 19.3 (18.9)	19 ~ 20 (19)	7.7 ~ 9.6 (8.0)	7.9 ~ 8.0 (-)
3(土)	<1 ~ 2 (1)	18.3 ~ 19.4 (18.9)	19 ~ 20 (19)	7.7 ~ 8.3 (8.0)	7.9 ~ 8.0 (-)
4(日)	<1 ~ 2 (1)	18.9 ~ 19.9 (19.4)	19 ~ 19 (19)	7.4 ~ 8.2 (7.9)	7.9 ~ 8.0 (-)
5(月)	<1 ~ 1 (<1)	19.1 ~ 20.3 (19.7)	18 ~ 20 (19)	6.9 ~ 8.1 (7.8)	7.9 ~ 7.9 (-)
6(火)	<1 ~ 1 (<1)	19.2 ~ 19.7 (19.5)	19 ~ 20 (19)	7.5 ~ 8.0 (7.8)	7.9 ~ 7.9 (-)
7(水)	<1 ~ 1 (<1)	18.2 ~ 19.8 (19.2)	19 ~ 20 (19)	7.5 ~ 8.2 (7.8)	7.8 ~ 7.9 (-)
8(木)	<1 ~ 1 (<1)	18.5 ~ 19.7 (19.1)	19 ~ 20 (19)	7.7 ~ 8.2 (8.0)	7.8 ~ 7.9 (-)
9(金)	<1 ~ 3 (<1)	18.7 ~ 19.5 (19.2)	19 ~ 20 (19)	7.6 ~ 8.1 (7.9)	7.8 ~ 7.9 (-)
10(土)	<1 ~ 1 (1)	19.0 ~ 19.4 (19.2)	19 ~ 19 (19)	7.5 ~ 8.0 (7.8)	7.9 ~ 8.0 (-)
11(日)	<1 ~ 1 (1)	18.8 ~ 20.0 (19.3)	19 ~ 19 (19)	7.5 ~ 7.9 (7.7)	7.9 ~ 8.0 (-)
12(月)	<1 ~ 1 (1)	19.0 ~ 19.8 (19.4)	19 ~ 20 (19)	7.5 ~ 8.9 (7.9)	7.9 ~ 7.9 (-)
13(火)	<1 ~ 1 (1)	19.2 ~ 20.6 (20.0)	19 ~ 19 (19)	8.0 ~ 12 (8.2)	7.9 ~ 7.9 (-)
14(水)	<1 ~ 1 (1)	20.2 ~ 22.1 (21.0)	19 ~ 19 (19)	7.1 ~ 8.1 (7.7)	7.8 ~ 7.9 (-)
15(木)	<1 ~ 3 (1)	21.2 ~ 22.3 (21.8)	19 ~ 20 (19)	7.0 ~ 7.5 (7.2)	7.9 ~ 7.9 (-)
16(金)	<1 ~ 1 (1)	21.2 ~ 22.4 (22.1)	18 ~ 20 (19)	6.9 ~ 8.8 (7.5)	7.7 ~ 8.0 (-)

測定日 (曜日)	濁 度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水 温 (℃) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
17(土)	<1 ~ 2 (1)	21.7 ~ 22.3 (22.0)	19 ~ 20 (19)	7.9 ~ 8.1 (8.0)	8.0 ~ 8.1 (-)
18(日)	1 ~ 2 (1)	21.8 ~ 22.7 (22.2)	19 ~ 20 (19)	7.7 ~ 8.5 (7.9)	8.0 ~ 8.1 (-)
19(月)	<1 ~ 1 (1)	20.8 ~ 23.2 (22.6)	18 ~ 19 (19)	6.9 ~ 7.8 (7.4)	7.9 ~ 8.0 (-)
20(火)	<1 ~ 1 (1)	22.5 ~ 23.7 (23.1)	18 ~ 20 (19)	6.8 ~ 7.3 (7.1)	7.9 ~ 7.9 (-)
21(水)	<1 ~ 2 (1)	23.1 ~ 24.7 (24.1)	19 ~ 20 (19)	6.5 ~ 11 (6.8)	7.7 ~ 8.5 (-)
22(木)	<1 ~ 2 (1)	24.1 ~ 25.4 (24.6)	19 ~ 20 (19)	6.4 ~ 6.9 (6.7)	7.9 ~ 8.0 (-)
23(金)	1 ~ 2 (1)	23.8 ~ 24.9 (24.2)	18 ~ 20 (19)	6.4 ~ 7.1 (6.7)	8.0 ~ 8.0 (-)
24(土)	1 ~ 2 (1)	22.7 ~ 23.9 (23.4)	19 ~ 19 (19)	6.2 ~ 6.8 (6.5)	8.0 ~ 8.0 (-)
25(日)	1 ~ 3 (2)	21.2 ~ 22.8 (22.2)	19 ~ 20 (19)	6.1 ~ 6.8 (6.4)	8.0 ~ 8.0 (-)
26(月)	2 ~ 3 (2)	18.6 ~ 21.2 (20.8)	18 ~ 20 (19)	6.3 ~ 7.9 (7.0)	8.0 ~ 8.1 (-)
27(火)	2 ~ 3 (2)	20.0 ~ 20.9 (20.4)	19 ~ 20 (19)	7.4 ~ 8.0 (7.8)	8.1 ~ 8.2 (-)
28(水)	2 ~ 3 (2)	20.4 ~ 22.0 (21.3)	19 ~ 20 (19)	7.1 ~ 8.0 (7.7)	8.2 ~ 8.2 (-)
29(木)	2 ~ 4 (3)	21.7 ~ 22.3 (22.1)	19 ~ 20 (19)	7.2 ~ 7.9 (7.5)	8.2 ~ 8.2 (-)
30(金)	2 ~ 3 (2)	21.2 ~ 22.1 (21.7)	18 ~ 20 (19)	7.2 ~ 7.8 (7.5)	8.2 ~ 8.3 (-)
31(土)	2 ~ 3 (2)	20.9 ~ 21.5 (21.2)	19 ~ 20 (19)	7.3 ~ 7.8 (7.6)	8.3 ~ 8.3 (-)
5 月 集計結果	<1 ~ 4 (1)	18.2 ~ 25.4 (21.0)	18 ~ 20 (19)	6.1 ~ 12 (7.5)	7.7 ~ 8.5 (-)

注：()内は平均値を示す。

表 1－3 放流水、内水の測定結果〔週調査〕（令和7年5月）

調 査 日	調査地点(St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
5月8日 (木)	8		2.9	21.6	<1	19	7.0	7.9	32
	11		-	20.9	1	17	-	7.8	32
5月13日 (火)	8		2.4	20.5	1	18	6.7	8.0	37
	11		-	20.5	<1	-	-	-	36
5月20日 (火)	8		2.7	25.0	1	20	5.9	8.1	29
	11		-	23.6	1	-	-	-	29
5月27日 (火)	8		1.6	21.3	3	20	7.7	8.3	27
	11		-	20.8	5	-	-	-	27
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点(St.)		透明度 (m)	水 温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	2.9	25.0	3	20	7.7	8.3	37
		最小値	1.6	20.5	<1	18	5.9	7.9	27
		平均値	2.4	22.1	2	19	6.8	-	31
	11 [放流水]	最大値	-	23.6	5	17	-	7.8	36
		最小値	-	20.5	<1	-	-	-	27
		平均値	-	21.5	2	-	-	-	31

表 1 - 4 (1) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
 [月調査・年4回調査] (一般項目及び生活環境項目) (令和7年5月)

調査年月日：令和7年5月8日

監視区分 項目 地点番号		基 本 監 視 点										内 水	放流水	補助監視点	
		1	3	4	5	6	7	最小値 ～ 最大値		平均値	8	11	12	13	
調査時刻	-	9:11	8:51	8:41	8:33	8:23	8:09	- ～ -		-	13:10	12:53	7:51	8:01	
濁度 (度(カリン))	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ～ <1		<1	-	-	<1	<1	
	底層	1	<1	<1	1	1	1	<1 ～ 1		1			2	3	
透明度 (m)	-	3.1	3.5	4.0	3.5	4.0	5.0	3.1 ～ 5.0		3.9	2.9	-	5.2	5.4	
水温 (℃)	表層	16.5	15.3	15.4	15.6	15.7	15.6	15.3 ～ 16.5		15.7	21.6	20.9	15.4	15.6	
	底層	14.2	14.3	14.1	14.0	14.0	14.2	14.0 ～ 14.3		14.1			14.0	14.3	
S S (mg/L)	表層	3	3	3	2	2	2	2 ～ 3		3	<1	1	3	2	
	底層	3	3	4	3	4	3	3 ～ 4		3			5	5	
クロロフィルa (μ g/L)	表層	5	4	4	2	2	3	2 ～ 5		3	3	-	1	2	
	底層	-	-	-	-	-	-	- ～ -		-			-	-	
F S S (mg/L)	表層	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ～ <1		<1	<1	-	<1	<1	
	底層	1	1	1	1	2	1	1 ～ 2		1			2	3	
塩分 (%)	表層	30.3	31.0	31.7	31.6	30.7	31.6	30.3 ～ 31.7		31.2	12.5	-	31.1	31.3	
	底層	32.4	32.4	32.3	32.4	32.3	32.3	32.3 ～ 32.4		32.4			32.0	32.2	
C O D (mg/L)	表層	3.3	3.1	2.6	2.7	2.6	2.5	2.5 ～ 3.3		2.8	19	17	2.4	2.0	
	底層	2.2	2.2	2.3	2.2	1.9	2.0	1.9 ～ 2.3		2.1			2.2	2.4	
D O (mg/L)	表層	9.4	8.4	8.7	9.3	9.1	8.5	8.4 ～ 9.4		8.9	7.0	-	9.0	8.5	
	底層	6.6	6.5	6.3	6.0	6.3	7.2	6.0 ～ 7.2		6.5			6.2	6.9	
p H (-)	表層	8.3	8.2	8.1	8.2	8.2	8.1	8.1 ～ 8.3		-	7.9	7.8	8.2	8.1	
	底層	8.0	8.0	7.9	8.0	7.9	8.0	7.9 ～ 8.0		-			8.0	8.0	
全窒素 (mg/L)	表層	0.65	0.52	0.52	0.41	0.52	0.47	0.41 ～ 0.65		0.52	32	32	0.62	0.42	
	底層	0.49	0.48	0.53	0.53	0.48	0.46	0.46 ～ 0.53		0.50			0.49	0.35	
全磷 (mg/L)	表層	0.032	0.036	0.035	0.040	0.039	0.039	0.032 ～ 0.040		0.037	0.022	0.021	0.031	0.039	
	底層	0.022	0.037	0.027	0.034	0.026	0.025	0.022 ～ 0.037		0.029			0.024	0.026	
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	<1	<1	3	8	9	24	<1 ～ 24		8	<1	<1	4	10	
	底層	-	-	-	-	-	-	- ～ -		-			-	-	
ノルマレヘキサン抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ～ <0.5		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
	底層	-	-	-	-	-	-	- ～ -		-			-	-	

注：基本監視点、補助監視点の採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表 1 - 4 (2) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (特殊項目) (令和7年5月)

調査年月日：令和7年5月8日

監視区分		基 本 監 視 点								内 水	放流水	補助監視点	
項目	地点番	1	3	4	5	6	7	最小値 ～ 最大値	平均値	8	11	12	13
調査時刻	-	9:11	8:51	8:41	8:33	8:23	8:09	— ～ —	—	13:10	12:53	7:51	8:01
フェノール類 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～ <0.005	<0.005	0.03	0.02	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～ <0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅 (mg/L)	表層	0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001 ～ 0.001	0.001	<0.005	<0.005	0.002	<0.001
	底層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001 ～ <0.001	<0.001			<0.001	<0.001
亜鉛 (mg/L)	表層	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005	0.003	0.003 ～ 0.005	0.003	0.011	0.012	0.016	0.004
	底層	0.003	0.002	0.002	0.002	0.004	0.003	0.002 ～ 0.004	0.003			0.009	0.004
総クロム (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～ <0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄 (mg/L)	表層	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01 ～ 0.02	0.01	<0.08	<0.08	0.01	0.02
	底層	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01 ～ 0.01	0.01			0.01	0.01
溶解性マンガン (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～ <0.01	<0.01	0.09	0.09	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04 ～ <0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	底層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04 ～ <0.04	<0.04			0.09	<0.04
亜硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～ <0.005	<0.005	<0.04	<0.04	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～ <0.005	<0.005			<0.005	<0.005

注：基本監視点、補助監視点の採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表 1 - 4 (3) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (健康項目) (令和7年5月)

調査年月日: 令和7年5月8日

	監視区分	内水[管理型区画]	放流水
	地点番号	8	11
項目	調査時刻	13:10	12:53
カドミウム	mg/L	<0.005	<0.005
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1
有機リン	mg/L	<0.1	<0.1
鉛	mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02
砒素	mg/L	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	—	—
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.002
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0006	<0.0006
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0005	<0.0005
チウラム	mg/L	※	※
シマジン	mg/L	※	※
チオベンカルブ	mg/L	※	※
ベンゼン	mg/L	<0.005	<0.005
セレン	mg/L	<0.005	<0.005
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04
ほう素	mg/L	1.3	1.2
ふっ素	mg/L	1.6	1.6
アンモニア等	mg/L	12	13

注: ※は、7月に調査を実施する。

表 1 - 4 (4) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果
[年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和7年5月)

調査年月日：令和7年5月8日

項 目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.010	0.00015	0.16	0.17
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	-	10	-	-
S S	(mg/L)	<1	1	3	2
(管理基準値)	(mg/L)	-	50	-	-

注：毒性等価係数はWHO-TEF (2006) を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水, 放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の
1/2を用いて算出

表 1－5（1） 植物プランクトン調査結果（表層）（令和7年5月）

調査期日：令和7年5月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	29	35	30	34	31	25	54
細胞数（細胞/mL）	1,537	1,347	1,134	789	979	854	1,107
沈殿量（mL/L）	0.2	0.2	0.1	0.1	<0.05	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 1,167 (75.9)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 798 (59.2)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 516 (45.5)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 405 (51.3)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 663 (67.7)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 435 (50.9)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 664 (60.0)
	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 93 (6.1)	スケルトネマ コスタツム 153 (11.4)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 216 (19.0)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 150 (19.0)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 147 (15.0)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 129 (15.1)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 141 (12.7)
	スケルトネマ コスタツム 72 (4.7)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 111 (8.2)	キートクロス属 132 (11.6)	スケルトネマ コスタツム 57 (7.2)	キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 45 (4.6)	スケルトネマ コスタツム 120 (14.1)	スケルトネマ コスタツム 81 (7.3)
	キートクロス属 54 (3.5)	キートクロス属 90 (6.7)	スケルトネマ コスタツム 81 (7.1)	キートクロス属 39 (4.9)	キートクロス属 42 (4.3)	キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 54 (6.3)	キートクロス属 65 (5.8)
	キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 33 (2.1)	クリプト藻綱 48 (3.6)	キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 42 (3.7)	クリプト藻綱 36 (4.6)	クリプト藻綱 24 (2.5)	キートクロス属 30 (3.5)	キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 39 (3.5)
				キ ^ム ノテ ^ニ ウム属 36 (4.6)	ステファノビ ^キ シス ハ ^ル メラリア ^ナ 24 (2.5)		

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1－5（2） 植物プランクトン調査結果（底層）（令和7年5月）

調査期日：令和7年5月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	35	29	33	31	33	29	59
細胞数（細胞/mL）	776	297	1,461	1,046	1,006	934	920
沈殿量（mL/L）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
主 要 種 ^{注2)} 細胞数（%）	スケルトネマ コスタツム 297 (38.3)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 75 (25.3)	スケルトネマ コスタツム 453 (31.0)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 363 (34.7)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 300 (29.8)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 285 (30.5)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 272 (29.6)
	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 243 (31.3)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 66 (22.2)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 417 (28.5)	スケルトネマ コスタツム 246 (23.5)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 231 (23.0)	ニッチア ブ ^ン ケ ^ン ス 234 (25.1)	スケルトネマ コスタツム 240 (26.0)
	キートクロス属 84 (10.8)	クリプト藻綱 39 (13.1)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 147 (10.1)	キートクロス属 147 (14.1)	スケルトネマ コスタツム 189 (18.8)	スケルトネマ コスタツム 216 (23.1)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 151 (16.4)
	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 54 (7.0)	スケルトネマ コスタツム 36 (12.1)	キートクロス デ ^ヒ レ 132 (9.0)	リゾ ^ン ソレニア セティケ ^ラ 120 (11.5)	キートクロス属 81 (8.1)	キートクロス属 69 (7.4)	キートクロス属 88 (9.6)
	キートクロス デ ^ヒ レ 24 (3.1)	キートクロス属 24 (8.1)	キートクロス属 123 (8.4)	キートクロス デ ^ヒ レ 51 (4.9)	キートクロス デ ^ヒ レ 78 (7.8)	クリプト藻綱 30 (3.2)	キートクロス デ ^ヒ レ 52 (5.6)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1 - 6 動物プランクトン調査結果 (令和7年5月)

調査期日：令和7年5月8日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	34	41	34	40	32	37	50
個体数 (個体/m ³)	227, 907	121, 096	197, 206	162, 132	114, 938	160, 744	164, 004
沈殿量 (mL/m ³)	35. 8	27. 8	55. 9	50. 3	28. 2	41. 8	40. 0
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}	ヒンカ ^{タカラムシ}
	102, 336 (44. 9)	42, 647 (35. 2)	105, 000 (53. 2)	62, 397 (38. 5)	51, 389 (44. 7)	64, 189 (39. 9)	71, 326 (43. 5)
	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生	カイアシ類の ノープ ^{リウス} 期幼生
	31, 075 (13. 6)	19, 118 (15. 8)	28, 125 (14. 3)	29, 339 (18. 1)	26, 190 (22. 8)	26, 126 (16. 3)	26, 662 (16. 3)
	ノクティルカ ミリアリス	ノクティルカ ミリアリス	ノクティルカ ミリアリス	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	ノクティルカ ミリアリス
	29, 206 (12. 8)	13, 419 (11. 1)	11, 667 (5. 9)	13, 017 (8. 0)	7, 937 (6. 9)	18, 468 (11. 5)	13, 982 (8. 5)
二枚貝類の ウソ ^{期幼生}	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	オイト ^属 の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	ノクティルカ ミリアリス	アカルチア オモイ	ノクティルカ ミリアリス	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生
	14, 953 (6. 6)	9, 743 (8. 0)	9, 375 (4. 8)	12, 397 (7. 6)	7, 341 (6. 4)	12, 838 (8. 0)	11, 881 (7. 2)
二枚貝類の ウソ ^{期幼生}	二枚貝類の ウソ ^{期幼生}	アカルチア属の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	オイト ^属 の コヘ ^{ボ^テイト^ス} 期幼生	二枚貝類の ウソ ^{期幼生}	ノクティルカ ミリアリス	アカルチア オモイ	二枚貝類の ウソ ^{期幼生}
	10, 514 (4. 6)	7, 537 (6. 2)	8, 750 (4. 4)	10, 331 (6. 4)	4, 365 (3. 8)	12, 162 (7. 6)	7, 441 (4. 5)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－7 魚 卵 調 査 結 果 （令和7年5月）

調査年月日：令和7年5月9日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	3	3	5	3	4	4	5
個体数(個体/1000m ³)	9,730	12,742	66,317	14,327	20,603	19,448	23,861
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	カタクチイワシ 8,772 (90.2)	カタクチイワシ 11,703 (91.8)	カタクチイワシ 61,602 (92.9)	カタクチイワシ 12,166 (84.9)	カタクチイワシ 19,320 (93.8)	カタクチイワシ 18,700 (96.2)	カタクチイワシ 22,044 (92.4)
	単脂卵 (0.86～1.24mm) 602 (6.2)	ネズッポ科 678 (5.3)	ネズッポ科 2,921 (4.4)	ネズッポ科 1,555 (10.9)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 943 (4.6)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 404 (2.1)	ネズッポ科 1,028 (4.3)
	ネズッポ科 356 (3.7)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 361 (2.8)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 1,784 (2.7)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 606 (4.2)	ネズッポ科 328 (1.6)	ネズッポ科 331 (1.7)	単脂卵 (0.86～1.24mm) 783 (3.3)
			コノシロ 8 (<0.1)		コノシロ 12 (0.1)	コノシロ 13 (0.1)	コノシロ 6 (<0.1)
			サッパ 2 (<0.1)				サッパ <1 (<0.1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1－8 稚 仔 魚 調 査 結 果 （令和7年5月）

調査年月日：令和7年5月9日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	8	6	7	9	7	8	11
個体数(個体/1000m ³)	247	451	642	286	791	670	515
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	ネズッポ科 153 (61.9)	ネズッポ科 253 (56.1)	ネズッポ科 410 (63.9)	ネズッポ科 174 (60.8)	ネズッポ科 590 (74.6)	ネズッポ科 398 (59.4)	ネズッポ科 330 (64.1)
	カサゴ 43 (17.4)	カタクチイワシ 135 (29.9)	カタクチイワシ 120 (18.7)	カタクチイワシ 55 (19.2)	カタクチイワシ 84 (10.6)	カタクチイワシ 162 (24.2)	カタクチイワシ 94 (18.3)
	コノシロ 19 (7.7)	イソギンボ 27 (6.0)	イソギンボ 56 (8.7)	カサゴ 27 (9.4)	イソギンボ 39 (4.9)	コノシロ 38 (5.7)	イソギンボ 29 (5.6)
	イソギンボ 14 (5.7)	コノシロ 19 (4.2)	コノシロ 29 (4.5)	イソギンボ 13 (4.5)	コノシロ 35 (4.4)	カサゴ 37 (5.5)	カサゴ 28 (5.4)
	カタクチイワシ 8 (3.2)	カサゴ 15 (3.3)	カサゴ 15 (2.3)	コノシロ 7 (2.4)	カサゴ 31 (3.9)	イソギンボ 23 (3.4)	コノシロ 25 (4.8)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 9 底生生物調査結果 (令和7年5月)

調査期日: 令和7年5月9日

項目 \ 調査点		1	3	4	5	6	7	平均 ^{注1)}
種類数	軟体動物門	5	3	5	5	3	3	7
	環形動物門	7	7	9	11	5	3	16
	節足動物門	3	1					4
	そ の 他	4	1	1	1			4
	合 計	19	12	15	17	8	6	31
個体数	軟体動物門	89	29	248	223	52	191	139
	環形動物門	148	235	122	58	9	19	99
	節足動物門	7	1					1
	そ の 他	6	1	3	1			2
	合 計	250	266	373	282	61	210	240
個 構 体 成 数 比 (%)	軟体動物門	35.6	10.9	66.5	79.1	85.2	91.0	57.7
	環形動物門	59.2	88.3	32.7	20.6	14.8	9.0	41.0
	節足動物門	2.8	0.4					0.6
	そ の 他	2.4	0.4	0.8	0.4			0.8
	合 計							
湿重量 (g)	軟体動物門	1.27	0.27	1.38	1.02	0.31	2.09	1.06
	環形動物門	4.38	8.03	4.47	3.82	0.93	0.06	3.62
	節足動物門	0.84	+					0.14
	そ の 他	0.32	0.08	0.35	0.01			0.13
	合 計	6.81	8.38	6.20	4.85	1.24	2.15	4.94
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)		ハラウリオノシロ属 (A型) 127 (50.8)	ハラウリオノシロ属 (A型) 222 (83.5)	シズクガイ 135 (36.2)	シズクガイ 112 (39.7)	シズクガイ 30 (49.2)	シズクガイ 186 (88.6)	シズクガイ 85 (35.4)
		ホトトギスガイ 53 (21.2)	シズクガイ 21 (7.9)	ハラウリオノシロ属 (A型) 107 (28.7)	ホトトギスガイ 95 (33.7)	ホトトギスガイ 20 (32.8)	キャピテラ属 12 (5.7)	ハラウリオノシロ属 (A型) 80 (33.4)
		シズクガイ 26 (10.4)	ホトトギスガイ 7 (2.6)	ホトトギスガイ 105 (28.2)	ハラウリオノシロ属 (A型) 23 (8.2)	ウロコムシ科 4 (6.6)	ギボシイソメ科 5 (2.4)	ホトトギスガイ 47 (19.7)
		ヒメノコアサリ 8 (3.2)	ニカイチロリ科 5 (1.9)	ヒメノコアサリ 6 (1.6)	ケントリガイ 10 (3.5)	ハラウリオノシロ属 (A型) 2 (3.3)	ホトトギスガイ 4 (1.9)	ウロコムシ科 4 (1.8)
		ウロコムシ科 7 (2.8)	オウゴゴカイ 3 (1.1)	ウロコムシ科 5 (1.3)	ウロコムシ科 8 (2.8)	ケントリガイ 2 (3.3)	カタマカリギボシイソメ 2 (1.0)	ヒメノコアサリ 3 (1.3)

注 : 1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。

3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

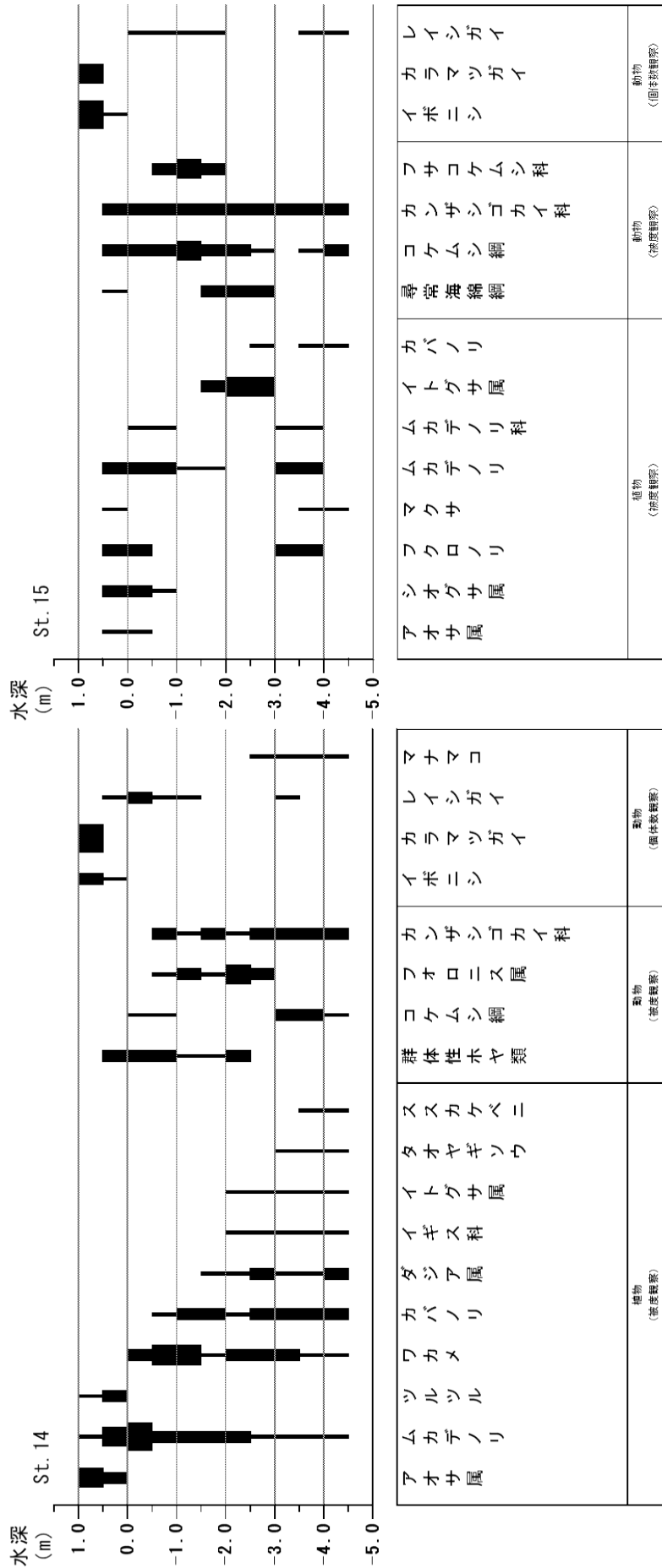
単位 : 1. 個体数の単位は個体/0.1m²、湿重量の単位はg/0.1m²。

2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 10 (1) 付着生物観察結果(ベルトトランセクト法) (令和7年5月)

門			種 名 \ 調査月日
---	--	--	----------------------

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。



調査期日：令和7年5月9日

(凡例)

被度階級：被覆率 (個体数)

- 1 : 1~9% (1~5個体)
- 2 : 10~25% (6~10個体)
- 3 : 26~50% (11~20個体)
- 4・5 : 51~100% (21個体以上)

注) 各種ごとの被度階級の合計が、植物は2以上、動物は5以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他特徴的な出現を示す種類について作成した。

図 1 - 2 主な付着生物の鉛直分布 (令和7年5月)

表 1－10（2） 付着生物観察結果(坪刈り：植物)（令和7年5月）

調査期日：令和7年5月9日

項目		14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	緑藻植物門	3	2	2	3	2	2	2	2	3
	褐藻植物門		1	1	2	1	1	1	1	2
	紅藻植物門		3	4	4	3	5	4	8	9
	そ の 他									
	合 計	3	6	7	9	6	8	7	11	14
湿重量 (g)	緑藻植物門	1.5	+	+	1.5	0.1	0.1	+	0.2	0.3
	褐藻植物門		+	300.6	300.6	+	1.6	0.1	1.7	50.4
	紅藻植物門		135.8	59.9	195.7	0.2	19.3	0.6	20.1	36.0
	そ の 他									
	合 計	1.5	135.8	360.5	497.8	0.3	21.0	0.7	22.0	86.6
湿構成 量比 (%)	緑藻植物門	100.0	<0.1	<0.1	0.3	33.3	0.5	<0.1	0.9	0.3
	褐藻植物門		<0.1	83.4	60.4	<0.1	7.6	14.3	7.7	58.2
	紅藻植物門		100.0	16.6	39.3	66.7	91.9	85.7	91.4	41.5
	そ の 他									
	主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)	アオサ属 1.5 (100.0)	ムカデノリ 87.7 (64.6) ツルツル 48.1 (35.4)	ワカメ 300.6 (83.4) ムカデノリ 53.5 (14.8) ツルツル 6.3 (1.7) カバノリ 0.1 (<0.1)	ワカメ 300.6 (60.4) ムカデノリ 141.2 (28.4) ツルツル 54.4 (10.9) アオサ属 1.5 (0.3) カバノリ 0.1 (<0.1)	オキツノリ 0.2 (66.7) シオグサ属 0.1 (33.3)	ムカデノリ 19.2 (91.4) フクロノリ 1.6 (7.6) シオグサ属 0.1 (0.5) ツルツル 0.1 (0.5)	ムカデノリ 0.5 (71.4) フクロノリ 0.1 (14.3) ススカケベニ 0.1 (14.3)	ムカデノリ 19.7 (89.5) フクロノリ 1.7 (7.7) シオグサ属 0.2 (0.9) オキツノリ 0.2 (0.9) ススカケベニ 0.1 (0.5) ツルツル 0.1 (0.5)	ワカメ 50.1 (57.8) ムカデノリ 26.8 (31.0) ツルツル 9.1 (10.5) アオサ属 0.3 (0.3) フクロノリ 0.3 (0.3)

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－10（3） 付着生物観察結果（坪刈り：動物）（令和7年5月）

調査期日：令和7年5月9日

項目		調査点 14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
種類数	軟体動物門	14	12	9	22	20	13	12	25	31
	環形動物門	10	20	22	27	12	17	15	21	28
	節足動物門	5	11	10	17	13	18	14	24	27
	そ の 他	4	10	11	14	6	9	14	15	16
	合 計	33	53	52	80	51	57	55	85	102
個体数	軟体動物門	90	480	231	801	240	224	263	727	255
	環形動物門	47	698	1,208	1,953	189	240	330	759	452
	節足動物門	37	85	77	199	652	1,171	1,784	3,607	634
	そ の 他	12	34	93	139	96	89	95	280	70
	合 計	186	1,297	1,609	3,092	1,177	1,724	2,472	5,373	1,411
個構 成比 (%)	軟体動物門	48.4	37.0	14.4	25.9	20.4	13.0	10.6	13.5	18.1
	環形動物門	25.3	53.8	75.1	63.2	16.1	13.9	13.3	14.1	32.0
	節足動物門	19.9	6.6	4.8	6.4	55.4	67.9	72.2	67.1	45.0
	そ の 他	6.5	2.6	5.8	4.5	8.2	5.2	3.8	5.2	4.9
主 要 種 ^{注2)} 個体数 (%)	コモレビ ^{コガ} モガイ	49 (26.3)	449 (34.6)	582 (36.2)	1,024 (33.1)	368 (31.3)	368 (21.3)	704 (28.5)	936 (17.4)	189 (13.4)
	シリス亜科	17 (9.1)	441 (34.0)	301 (18.7)	633 (20.5)	188 (16.0)	232 (13.5)	451 (18.2)	705 (13.1)	171 (12.1)
	モカズ ^{コモレ} 科	17 (9.1)	73 (5.6)	183 (11.4)	329 (10.6)	93 (7.9)	224 (13.0)	336 (13.6)	667 (12.4)	159 (11.3)
	ゲンガ ^{クゴ} ガイ	13 (7.0)	36 (2.8)	78 (4.8)	141 (4.6)	68 (5.8)	212 (12.3)	240 (9.7)	498 (9.3)	118 (8.3)
	シリクウミミ属	11 (5.9)	28 (2.2)	67 (4.2)	131 (4.2)	61 (5.2)	165 (9.6)	224 (9.1)	466 (8.7)	114 (8.1)
	ネズミ ^{コガ} イ									
	ネズミ ^{コガ} イ									
	ネズミ ^{コガ} イ									

※各採集層：上層→平均水面、中層→大潮最低低潮面、下層→大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。
3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1－10（4） 付着生物観察結果（坪刈り：動物（湿重量））（令和7年5月）

調査期日：令和7年5月9日

項目		調査点 14				15				平均 ^{注1)}
		上 層	中 層	下 層	合 計	上 層	中 層	下 層	合 計	
湿重量 (g)	軟体動物門	16.0	35.4	5.3	56.7	42.8	18.5	25.3	86.6	23.9
	環形動物門	0.7	7.3	19.6	27.6	2.5	4.8	10.4	17.7	7.6
	節足動物門	0.5	0.6	0.2	1.3	5.9	5.2	4.6	15.7	2.8
	そ の 他	0.1	5.8	6.0	11.9	3.2	18.9	147.8	169.9	30.3
	合 計	17.3	49.1	31.1	97.5	54.4	47.4	188.1	289.9	64.6
湿構 成比 (%)	軟体動物門	92.5	72.1	17.0	58.2	78.7	39.0	13.5	29.9	37.0
	環形動物門	4.0	14.9	63.0	28.3	4.6	10.1	5.5	6.1	11.7
	節足動物門	2.9	1.2	0.6	1.3	10.8	11.0	2.4	5.4	4.4
	そ の 他	0.6	11.8	19.3	12.2	5.9	39.9	78.6	58.6	46.9
主 要 種 ^{注2)} 湿重量g (%)	イボニシ	10.6 (61.3)	18.1 (36.9)	11.4 (36.7)	21.2 (21.7)	29.6 (54.4)	13.6 (28.7)	45.5 (24.2)	59.1 (20.4)	9.9 (15.3)
	ケラ ^{ビザ} ラ ^イ 属	1.5 (8.7)	8.2 (16.7)	5.0 (16.1)	13.6 (13.9)	5.7 (10.5)	6.7 (14.1)	39.5 (21.0)	40.9 (14.1)	9.1 (14.1)
	コモレビ ^{コガ} モガイ	1.2 (6.9)	5.2 (10.6)	3.1 (10.0)	12.5 (12.8)	3.8 (7.0)	6.5 (13.7)	33.3 (17.7)	39.9 (13.8)	6.9 (10.7)
	カラマツガイ	1.1 (6.4)	3.5 (7.1)	1.7 (5.5)	8.5 (8.7)	3.6 (6.6)	3.1 (6.5)	14.4 (7.7)	33.3 (11.5)	5.7 (8.9)
	イタボガキ科	0.6 (3.5)	3.0 (6.1)	1.4 (4.5)	8.2 (8.4)	2.3 (4.2)	2.5 (5.3)	9.3 (4.9)	21.4 (7.4)	4.9 (7.6)
	オオヘビガイ									
	オオヘビガイ									
	オオヘビガイ									

※各採集層：上層→平均水面、中層→大潮最低低潮面、下層→大潮最低低潮面－1 m

- 注：1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 11 (1) 漁業生物調査結果(刺網) (令和7年5月)

調査年月日：令和7年5月8～9日

項目 \ 調査点	16	17	平均
種類数	魚 類	3	5
	甲殻類		1
	頭足類		
	その他	1	1
	合 計	4	7
個体数	魚 類	9	102
	甲殻類		2
	頭足類		
	その他	2	1
	合 計	11	105
湿重量 (g)	魚 類	1,458.7	20,256.7
	甲殻類		140.5
	頭足類		
	その他	137.0	15.4
	合 計	1,595.7	20,412.6

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

表 1 - 11 (2) 漁業生物調査結果(刺網) (令和7年5月)

調査年月日：令和7年5月8～9日

項目 \ 調査点	16	17	平均
主要種	個体数 (組成比%)	魚 類	カサゴ 7 (63.6)
			クロダイ 1 (9.1)
			キチヌ 1 (9.1)
			イシガニ 2 (1.9)
			キヒトデ 2 (18.2)
			イシガニ 2 (1.9)
			キヒトデ 1 (1.0)
			キヒトデ 2 (2.6)
			キヒトデ 1 (1.0)
			キチヌ 1 (0.9)
	湿重量 (組成比%)	魚 類	カサゴ 837.7 (52.5)
			キチヌ 362.5 (22.7)
			クロダイ 258.5 (16.2)
			イシガニ 140.5 (0.7)
			キヒトデ 137.0 (8.6)
			イシガニ 140.5 (0.7)
			キヒトデ 15.4 (0.1)
			キヒトデ 76.2 (0.7)
			キヒトデ 76.2 (0.7)

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のものを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

大 阪 基 地

Ⅱ 大阪基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年5月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注)})	No. 1 No. 2	3 地点	10時間 (毎正時10分間)	5月13日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注)})	No. 4		10時間 (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No. 2 No. 3	2 地点	10時間 (毎正時10分間)	5月13日 8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 2 No. 3	2 地点	1 週間 (連続)	5月13日 0時30分～ 5月20日 0時30分

注：2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

1.2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

(1) 交通量（表2-1、表2-2）

ア) 大阪池田線沿道の測定点（No.1）

時間交通量は 991～1,262台、廃棄物車の時間交通量は 0～8台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 18台/10hrで、総交通量(11,208台/10hr)に占める割合は 0.2%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 大阪池田線沿道の測定点（No.2）

時間交通量は 912～1,261台、廃棄物車の時間交通量は 0～5台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 9台/10hrで、総交通量(10,803台/10hr)に占める割合は 0.1%

であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 66～192台、廃棄物車の時間交通量は 0～64台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 258台／10hrで、総交通量(1,230台／10hr)に占める割合は 21.0%であった。

(2) 騒音・振動 (表 2-1、表 2-2)

① 騒音

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

等価騒音レベル (L_{Aeq}) は 67.8～69.8dB(平均69dB)であり、時間率騒音レベルの中央値 (L_{A50}) は 63～66dB(平均65dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

等価騒音レベル (L_{Aeq}) は 53.8～61.1dB(平均59dB)であり、時間率騒音レベルの中央値 (L_{A50}) は 50～60dB(平均54dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(65dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振動

80%レンジの上端値 (L_{10}) は、測定点No. 2では 44～49dB(平均47dB)であり、測定点No. 3では 34～40dB(平均37dB)であった。(L_{10})の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(65dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表 2-1、表 2-3～表 2-9)

ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 1.8m/secであった。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 2.2m/secであった。

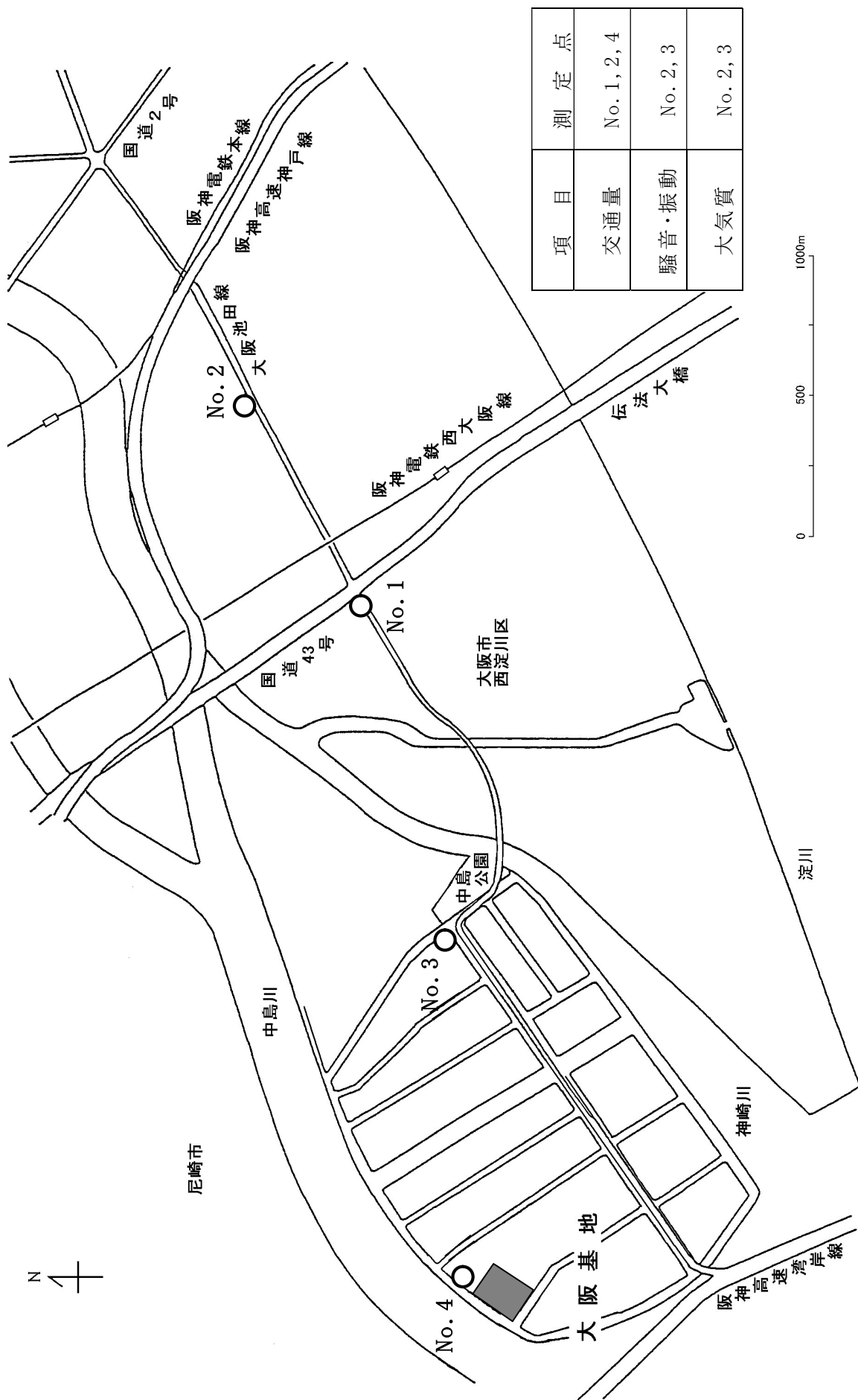


図 2 - 1 環境監視調査地点位置図 (大阪基地)

2 環境監視結果

表 2 - 1 監視結果総括

				(大阪基地 令和7年5月調査結果)			
測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			5月13日	5月13日	5月13日	5月13日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	1,262	1,261	—	192
		最 小 時 間 交 通 量		991	912	—	66
		総 交 通 量		11,208	10,803	—	1,230
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	8	5	—	64
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	—	0
		総 交 通 量		18	9	—	258
廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.2	0.1	—	21.0
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	5月13日	5月13日	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 値	(dB)	—	67.8 ～ 69.8	53.8 ～ 61.1	—
		時 間 平 均 値		—	69	59	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 値		—	63 ～ 66	50 ～ 60	—
		時 間 平 均 値		—	65	54	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 値		—	44 ～ 49	34 ～ 40	—
時 間 平 均 値		—		47	37	—	
大 気 質	調 査 日			—	5月13日～19日	5月13日～19日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	—	0.003～0.006	0.003～0.005	—
		期間平均値		—	0.005	0.004	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	—	0.009～0.017	0.009～0.021	—
		期間平均値		—	0.013	0.015	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	—	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	—	0.015～0.028	0.018～0.030	—
		期間平均値		—	0.021	0.023	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	—	0	0	—
	風 速	日平均値	(m/s)	—	0.9～2.5	1.5～3.0	—
		期間平均値		—	1.8	2.2	—
	風 向	最多風向	16方位	—	WSW	W	—

表 2 - 2 交通量・騒音・振動調査結果

(大阪基地 令和7年5月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全 車両	注4)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1	令和7年 5月13日	8:00	468	690	1,158	40.4	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	746	438	1,184	63.0	2	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	680	390	1,070	63.6	8	0	0.7	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	859	354	1,213	70.8	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	603	432	1,035	58.3	3	0	0.3	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	457	534	991	46.1	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	704	558	1,262	55.8	2	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	565	534	1,099	51.4	1	0	0.1	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	462	588	1,050	44.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	342	804	1,146	29.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	5,886	5,322	11,208	—	18	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	589	532	1,121	52.5	1.8	0	0.2	0.3	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2	令和7年 5月13日	8:00	348	600	948	36.7	0	0	0.0	0.0	76	65	53	69.8	46	36	29	自動車
		9:00	414	720	1,134	36.5	0	0	0.0	0.0	74	66	52	68.8	47	36	29	自動車
		10:00	372	552	924	40.3	0	0	0.0	0.0	76	63	54	69.8	49	36	29	自動車
		11:00	449	666	1,115	40.3	5	0	0.4	1.1	75	66	56	69.4	49	40	32	自動車
		12:00	517	672	1,189	43.5	1	0	0.1	0.2	76	64	52	69.1	49	38	28	自動車
		13:00	374	786	1,160	32.2	2	0	0.2	0.5	73	65	59	68.0	46	36	30	自動車
		14:00	276	852	1,128	24.5	0	0	0.0	0.0	75	65	56	69.1	47	38	28	自動車
		15:00	337	924	1,261	26.7	1	0	0.1	0.3	74	65	55	68.2	48	37	28	自動車
		16:00	288	624	912	31.6	0	0	0.0	0.0	73	65	53	67.8	46	35	28	自動車
		17:00	162	870	1,032	15.7	0	0	0.0	0.0	74	64	52	68.3	44	34	26	自動車
	合計	3,537	7,266	10,803	—	9	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	354	727	1,080	32.7	0.9	0	0.1	0.3	75	65	54	69	47	37	29	—	
No.3	令和7年 5月13日	8:00	—	—	—	—	—	—	—	—	63	57	46	59.4	34	31	27	自動車
		9:00	—	—	—	—	—	—	—	—	65	56	54	60.5	40	34	31	自動車
		10:00	—	—	—	—	—	—	—	—	55	51	49	54.6	37	33	30	自動車
		11:00	—	—	—	—	—	—	—	—	61	52	49	57.1	39	37	34	自動車
		12:00	—	—	—	—	—	—	—	—	58	52	50	53.8	36	32	29	自動車
		13:00	—	—	—	—	—	—	—	—	62	60	51	59.5	38	35	32	自動車
		14:00	—	—	—	—	—	—	—	—	65	53	49	59.4	39	36	33	自動車
		15:00	—	—	—	—	—	—	—	—	61	50	48	57.4	37	33	29	自動車
		16:00	—	—	—	—	—	—	—	—	63	52	49	58.2	38	34	30	自動車
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	66	53	48	61.1	36	31	27	自動車
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	54	49	59	37	34	30	—
No.4	令和7年 5月13日	8:00	26	91	117	22.2	9	1	7.7	30.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	85	51	136	62.5	64	3	47.1	71.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	76	32	108	70.4	30	2	27.8	36.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	59	56	115	51.3	31	2	27.0	49.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	43	56	99	43.4	27	2	27.3	58.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	63	74	137	46.0	41	2	29.9	61.9	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	67	76	143	46.9	35	4	24.5	46.3	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	57	60	117	48.7	21	0	17.9	36.8	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	18	48	66	27.3	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	30	162	192	15.6	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	524	706	1,230	—	258	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	52	71	123	42.6	25.8	1.6	21.0	46.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注：1. 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

：2. 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。

：3. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

：4. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

大気質調査結果

表 2－3 二酸化硫黄測定結果 （令和7年5月13日～5月19日）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月13日（火）	0.006	0.010	0.005	0.007
	5月14日（水）	0.005	0.008	0.003	0.005
	5月15日（木）	0.005	0.006	0.004	0.005
	5月16日（金）	0.005	0.007	0.004	0.006
	5月17日（土）	0.003	0.004	0.003	0.005
	5月18日（日）	0.004	0.006	0.004	0.005
	5月19日（月）	0.004	0.007	0.004	0.006
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.005		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.006		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.010		0.007	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－4 二酸化窒素測定結果 （令和7年5月13日～5月19日）

（大阪基地 令和7年5月調査結果）

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月13日（火）	0.015	0.025	0.020	0.032
	5月14日（水）	0.015	0.027	0.018	0.038
	5月15日（木）	0.012	0.022	0.015	0.028
	5月16日（金）	0.017	0.025	0.021	0.032
	5月17日（土）	0.009	0.020	0.009	0.029
	5月18日（日）	0.010	0.020	0.010	0.025
	5月19日（月）	0.012	0.028	0.015	0.029
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.013		0.015	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.017		0.021	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.028		0.038	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上、0.06ppm 以下の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 2－5 一酸化窒素測定結果 (令和7年5月13日～5月19日)

(大阪基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月13日 (火)	0.005	0.013	0.005	0.018
	5月14日 (水)	0.004	0.011	0.005	0.021
	5月15日 (木)	0.003	0.010	0.003	0.013
	5月16日 (金)	0.005	0.011	0.006	0.028
	5月17日 (土)	0.005	0.020	0.004	0.027
	5月18日 (日)	0.004	0.015	0.002	0.012
	5月19日 (月)	0.003	0.012	0.005	0.022
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.004		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.005		0.006	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.020		0.028	

表 2－6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年5月13日～5月19日)

(大阪基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	5月13日 (火)	0.020	76.5	0.036	0.025	78.5	0.046
	5月14日 (水)	0.019	79.6	0.038	0.023	79.0	0.054
	5月15日 (木)	0.016	78.0	0.032	0.018	81.3	0.041
	5月16日 (金)	0.022	78.7	0.032	0.027	77.3	0.058
	5月17日 (土)	0.014	67.0	0.040	0.013	67.5	0.056
	5月18日 (日)	0.014	74.4	0.031	0.012	80.7	0.028
	5月19日 (月)	0.016	78.7	0.035	0.020	74.6	0.043
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.017			0.020		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.022			0.027		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.040			0.058		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		76.5			77.3		

表 2－7 浮遊粒子状物質測定結果（令和7年5月13日～5月19日）

(大阪基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	5月13日（火）	0.028	0.046	0.030	0.047
	5月14日（水）	0.021	0.032	0.022	0.040
	5月15日（木）	0.017	0.030	0.020	0.036
	5月16日（金）	0.015	0.023	0.018	0.026
	5月17日（土）	0.018	0.045	0.022	0.043
	5月18日（日）	0.020	0.036	0.022	0.036
	5月19日（月）	0.027	0.046	0.027	0.047
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.021		0.023	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.028		0.030	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.046		0.047	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0		0	

表 2－8 風向・風速測定結果（令和7年5月13日～5月19日）

(大阪基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 2				No. 3				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	5月13日 (火)	1.9	3.5	WSW	WSW	2.1	3.7	WSW	WSW	快晴 晴一時薄曇 薄曇 曇 大雨時々曇 曇 曇
	5月14日 (水)	1.6	3.2	SW	W	1.8	3.8	W	W	
	5月15日 (木)	2.2	4.4	WSW	W	2.6	5.4	W	W	
	5月16日 (金)	0.9	2.8	WSW	WSW	1.5	3.5	W	W	
	5月17日 (土)	2.5	5.0	SW	W	3.0	5.1	WSW	W	
	5月18日 (日)	2.0	3.5	WSW	WSW	2.4	3.5	W	WSW	
	5月19日 (月)	1.7	3.1	WSW	WSW	2.1	4.4	W	WSW	
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.8			—	2.2			—	
期間最大風速 (m/s)		5.0			—	5.4			—	
期間最多風向 (16方位)		—			WSW	—			W	

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

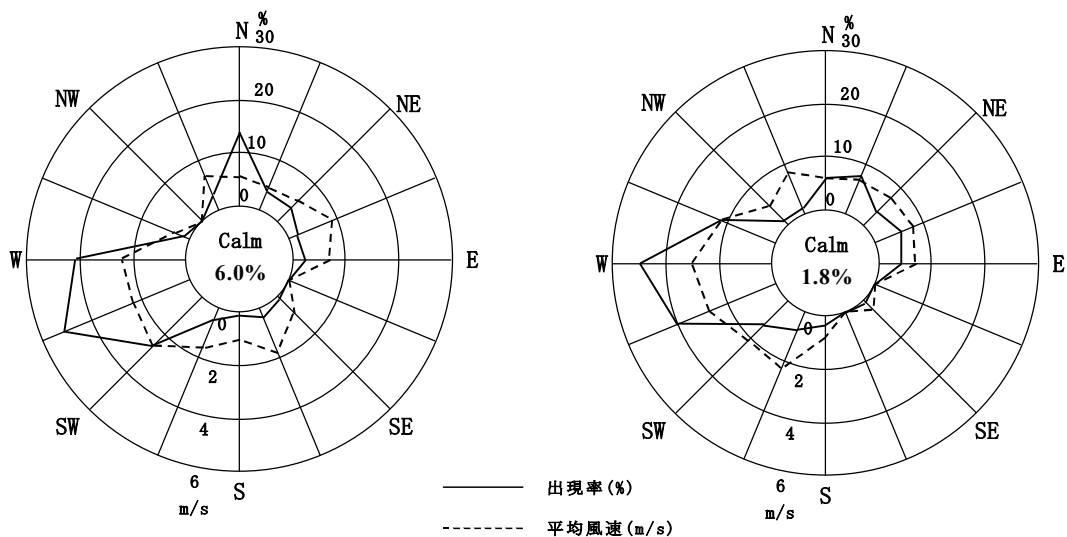
：2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 2 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年5月13日～5月19日)

(大阪基地 令和7年5月調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風 向	N	23	13.7	1.1	10	6.0	1.2
	NNE	6	3.6	0.9	13	7.7	1.4
	NE	6	3.6	1.1	6	3.6	1.5
	ENE	3	1.8	1.8	9	5.4	1.6
	E	4	2.4	1.4	7	4.2	1.4
	ESE	—	—	—	—	—	—
	SE	1	0.6	0.9	1	0.6	0.5
	SSE	3	1.8	1.8	—	—	—
	S	1	0.6	1.0	3	1.8	0.8
	SSW	4	2.4	1.6	6	3.6	2.3
	SW	22	13.1	2.6	11	6.5	2.1
	WSW	43	25.6	2.3	34	20.2	2.7
	W	35	20.8	2.4	42	25.0	3.0
	WNW	2	1.2	0.6	19	11.3	2.2
	NW	—	—	—	2	1.2	1.0
	NNW	5	3.0	1.4	2	1.2	1.7
calm		10	6.0	0.1	3	1.8	0.2
total		168	100.0	1.8	168	100.0	2.2

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

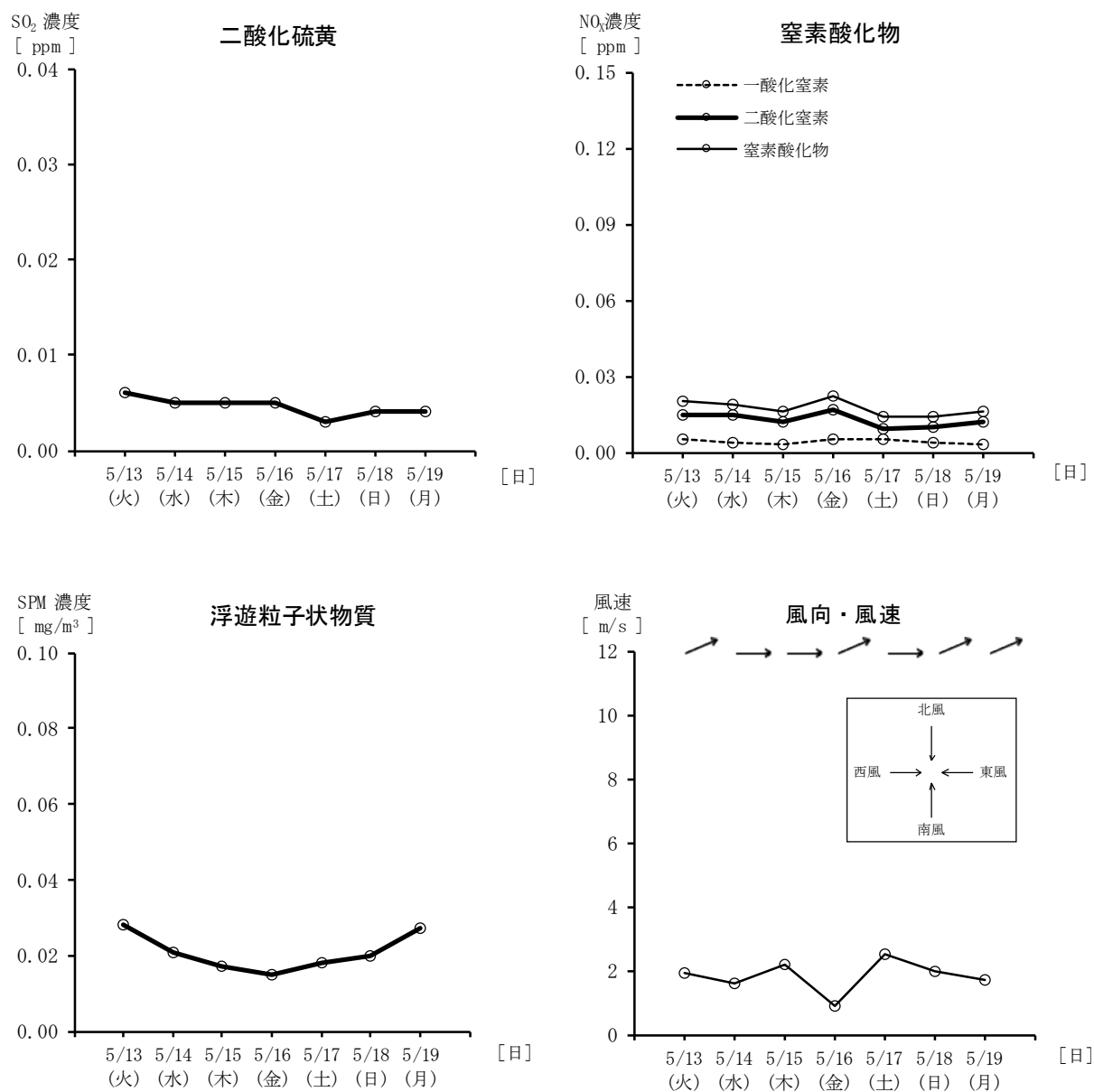


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

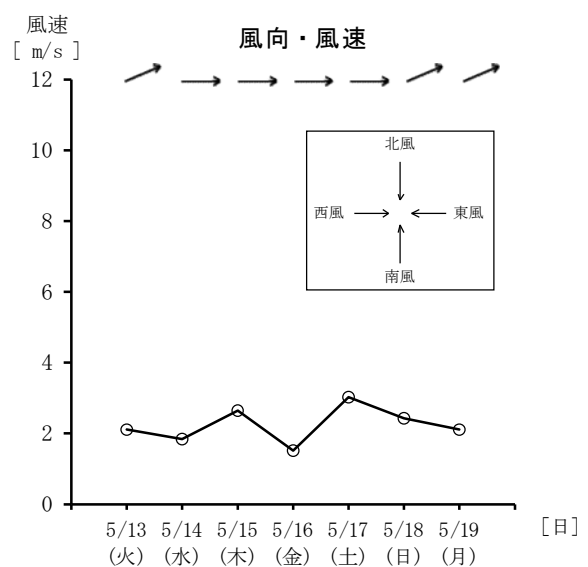
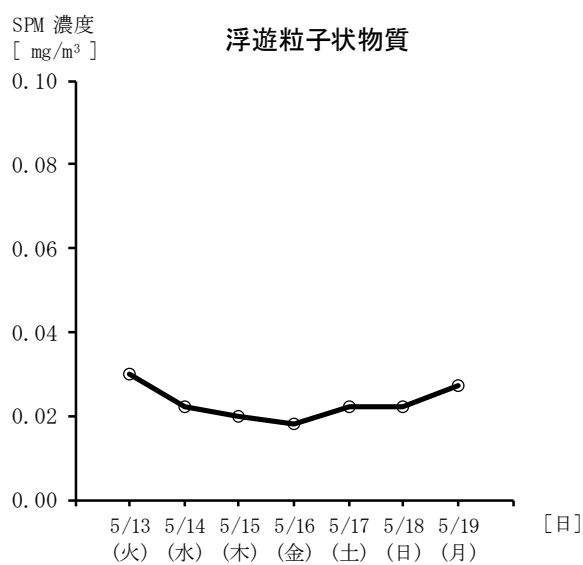
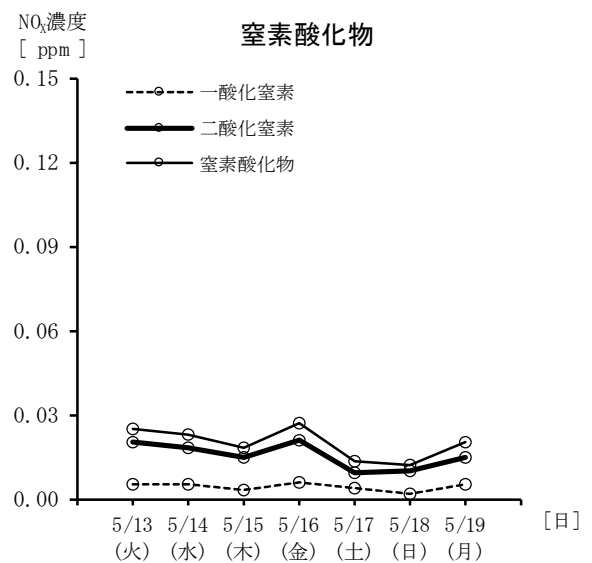
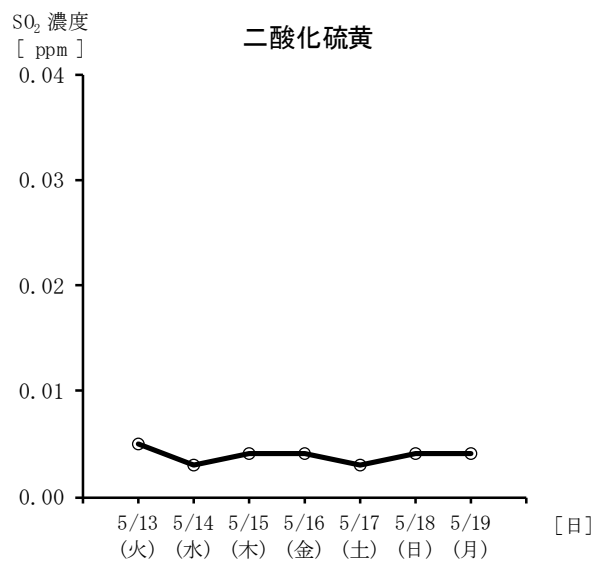
測定点 No. 3

図 2 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和7年5月13日～5月19日)



測定点 No. 2

図 2 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年5月13日～5月19日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年5月13日～5月19日)

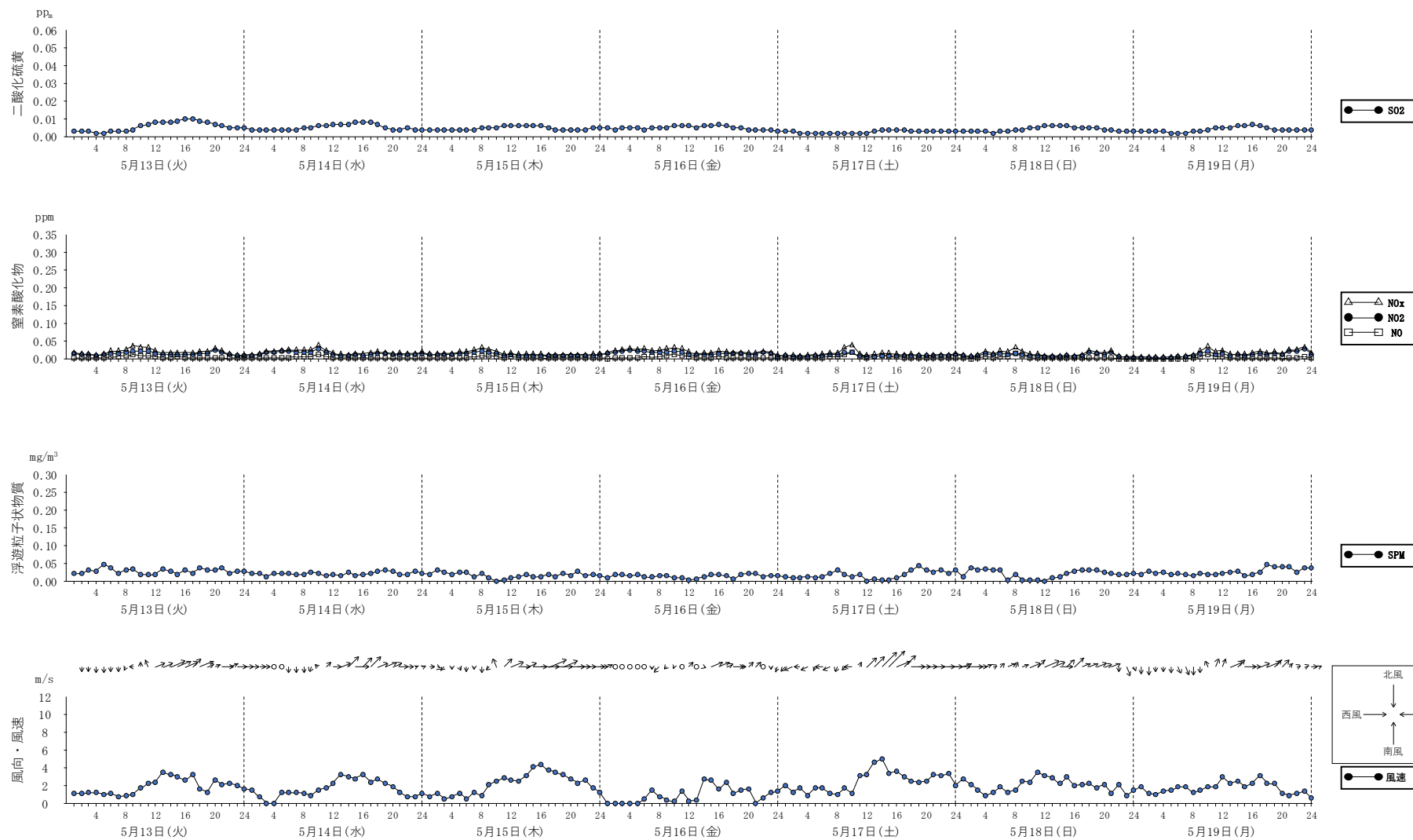


図 2－5 大気質・気象時系列変化図 (令和7年5月13日～5月19日) 測定点 No. 2

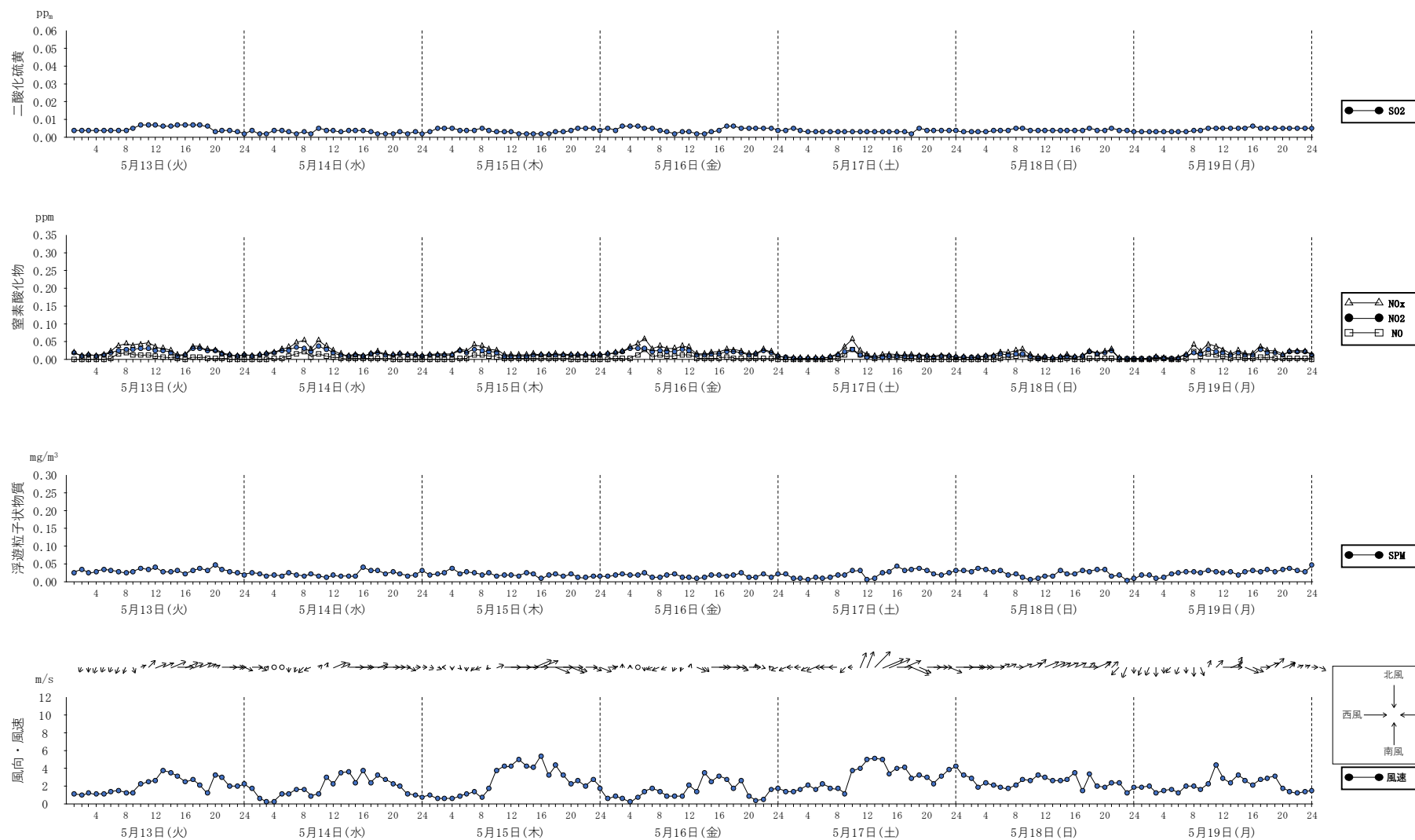


図 2 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和7年5月13日～5月19日) 測定点 No. 3

堺 基 地

Ⅲ 堺基地

1 環境監視結果の概要

1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年5月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 ^{注1)})	No. 1 No. 2	4地点	10時間 ^{注2)} (毎正時10分間)	5月21日8時～18時 ^{注2)}
	廃棄物車数(2車種分類 ^{注1)})	No. 3 No. 4		10時間 ^{注2)} (連続)	
騒音・振動	騒音、振動	No. 1 No. 2	2地点	10時間 (毎正時10分間)	5月21日8時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 1 No. 2	2地点	1週間 (連続)	5月21日 0時30分～ 5月28日 0時30分

注：1. 2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

：2. 測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が16時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

1.2 環境監視の結果

交通量、騒音・振動及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

(1) 交通量（表3-1、表3-2）

ア) 大阪臨海線沿道の測定点（No.1）

時間交通量は 1,735～3,048台、廃棄物車の時間交通量は 0～5台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 14台/10hrで、総交通量(23,378台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点（No.2）

時間交通量は 1,026～1,752台、廃棄物車の時間交通量は 0～1台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 1台/10hrで、総交通量(14,251台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいもの

のと考えられる。

ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は 1,434～2,832台、廃棄物車の時間交通量は 0～1台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 5台/10hrで、総交通量(19,415台/10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

エ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 0～49台、廃棄物車の時間交通量は 0～49台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は 222台/9hrで、総交通量(234台/9hr)に占める割合は 94.9%であった。

(2) 騒音・振動 (表 3-1、表 3-2)

① 騒音

ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 72.4～75.0dB(平均74dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 70～73dB(平均72dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)を上回り、要請限度(75dB)を下回った。

なお、この地点の主要音源は自動車走行騒音であるが、廃棄物車両の総交通量に占める割合が平均0.1%(0.0～0.2%)であるため、当センター事業の廃棄物車両による影響は小さいと考えられる。

イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

等価騒音レベル(L_{Aeq})は 62.1～64.6dB(平均64dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は 59～62dB(平均61dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)・要請限度(75dB)を下回っていた。

② 振 動

80%レンジの上端値(L_{10})は、測定点No.1では43～47dB(平均45dB)であり、測定点No.2では37～43dB(平均41dB)であった。 (L_{10}) の平均値(8:00～18:00)は、共に要請限度(No.1は65dB、No.2は70dB)を下回っていた。

(3) 大気質 (表3-1、表3-3～表3-9)

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は1.6m/secであった。

1) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は1.3m/secであった。

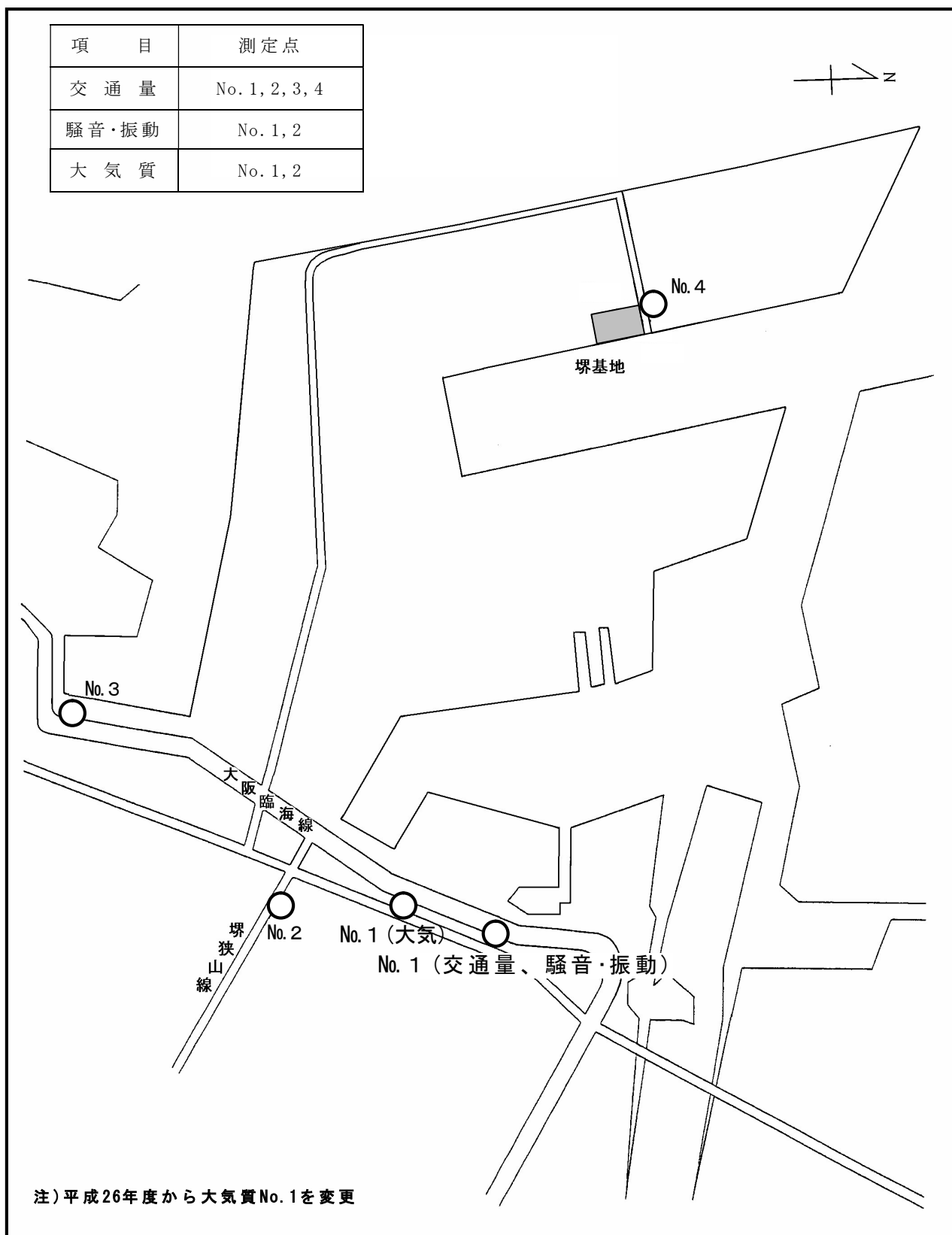


図 3 - 1 環境監視調査地点位置図（堺基地）

2 環境監視結果

表 3－1 監視結果総括

測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			5月21日	5月21日	5月21日	5月21日
	総交通量	最 大 時 間 交 通 量	(台)	3,048	1,752	2,832	49
		最 小 時 間 交 通 量		1,735	1,026	1,434	0
		総 交 通 量		23,378	14,251	19,415	234
	廃棄物 車 数	最 大 時 間 交 通 量	(台)	5	1	1	49
		最 小 時 間 交 通 量		0	0	0	0
		総 交 通 量		14	1	5	222
	廃 棄 物 車 混 入 率			(%)	0.1	0.0	0.0
騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			5月21日	5月21日	—	—
	騒音 (L_{Aeq})	一 時 間 間 値	(dB)	72.4 ～ 75.0	62.1 ～ 64.6	—	—
		時 間 平 均 値		74	64	—	—
	騒音 (L_{A50})	一 時 間 間 値		70 ～ 73	59 ～ 62	—	—
		時 間 平 均 値		72	61	—	—
	振動 (L_{10})	一 時 間 間 値		43 ～ 47	37 ～ 43	—	—
		時 間 平 均 値		45	41	—	—
大 気 質	調 査 日			5月21日～27日	5月21日～27日	—	—
	二酸化 硫 黄	日平均値	(ppm)	0.003 ～ 0.005	0.002 ～ 0.004	—	—
		期間平均値		0.004	0.003	—	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒 素	日平均値	(ppm)	0.004 ～ 0.023	0.007 ～ 0.021	—	—
		期間平均値		0.014	0.013	—	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値	(mg/m ³)	0.005 ～ 0.020	0.003 ～ 0.023	—	—
		期間平均値		0.011	0.011	—	—
		日平均値が0.1mg/m ³ を超えた日数	(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m ³ を超えた時間数	(時間)	0	0	—	—
	風 速	日平均値	(m/s)	1.1 ～ 2.0	0.9 ～ 2.1	—	—
		期間平均値		1.6	1.3	—	—
	風 向	最多風向	16方位	ENE	ESE	—	—

表 3－2 交通量・騒音・振動調査結果

(堺基地周辺 令和7年5月結果)

測定点	測定 年月日	測定 時刻	交通条件								騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な 騒音源
			総交通量 注3)				廃棄物車数 (台)		廃棄物車 混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車 以外 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	全車両	大型車 以外	廃棄物 車/全 車両	注4)	L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	L ₁₀	L ₅₀	L ₉₀	
No.1 注5)	令和7年 5月21日	8:00	702	1,890	2,592	27.1	0	0	0.0	0.0	77	72	63	72.7	44	40	37	自動車
		9:00	1,145	1,326	2,471	46.3	5	0	0.2	0.4	78	73	65	73.6	46	43	41	自動車
		10:00	1,174	906	2,080	56.4	4	0	0.2	0.3	79	73	66	74.6	47	45	42	自動車
		11:00	1,171	900	2,071	56.5	1	0	0.0	0.1	79	73	66	74.3	47	44	41	自動車
		12:00	1,141	1,050	2,191	52.1	1	0	0.0	0.1	79	73	65	74.6	46	43	40	自動車
		13:00	733	1,002	1,735	42.2	1	0	0.1	0.1	77	70	64	72.4	44	40	37	自動車
		14:00	1,178	990	2,168	54.3	2	0	0.1	0.2	80	72	66	74.6	47	43	40	自動車
		15:00	996	1,674	2,670	37.3	0	0	0.0	0.0	78	71	65	73.5	45	42	39	自動車
		16:00	672	1,680	2,352	28.6	0	0	0.0	0.0	79	71	65	73.7	45	42	38	自動車
		17:00	480	2,568	3,048	15.7	0	0	0.0	0.0	80	72	64	75.0	43	40	36	自動車
	合計	9,392	13,986	23,378	—	14	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	939	1,399	2,338	40.2	1.4	0	0.1	0.1	79	72	65	74	45	42	39	—	
No.2 注5)	令和7年 5月21日	8:00	258	1,002	1,260	20.5	0	0	0.0	0.0	69	62	49	64.1	38	32	29	自動車
		9:00	414	804	1,218	34.0	0	0	0.0	0.0	70	61	51	63.8	41	35	30	自動車
		10:00	475	972	1,447	32.8	1	0	0.1	0.2	70	61	51	64.4	43	35	32	自動車
		11:00	312	714	1,026	30.4	0	0	0.0	0.0	70	60	49	63.7	42	35	31	自動車
		12:00	360	1,110	1,470	24.5	0	0	0.0	0.0	69	59	51	63.2	41	34	31	自動車
		13:00	414	1,008	1,422	29.1	0	0	0.0	0.0	70	61	51	63.9	41	34	29	自動車
		14:00	486	1,122	1,608	30.2	0	0	0.0	0.0	70	62	53	64.6	43	37	32	自動車
		15:00	306	1,068	1,374	22.3	0	0	0.0	0.0	69	60	51	64.1	42	34	30	自動車
		16:00	294	1,458	1,752	16.8	0	0	0.0	0.0	68	61	50	63.1	41	34	29	自動車
		17:00	168	1,506	1,674	10.0	0	0	0.0	0.0	68	59	51	62.1	37	31	28	自動車
	合計	3,487	10,764	14,251	—	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	349	1,076	1,425	24.5	0.1	0	0.0	0.0	69	61	51	64	41	34	30	—	
No.3 注5)	令和7年 5月21日	8:00	529	1,482	2,011	26.3	1	0	0.0	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	805	1,044	1,849	43.5	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	1,111	900	2,011	55.2	1	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	942	876	1,818	51.8	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	841	828	1,669	50.4	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	618	816	1,434	43.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	763	1,074	1,837	41.5	1	0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	780	1,170	1,950	40.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	804	1,200	2,004	40.1	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	426	2,406	2,832	15.0	0	0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	7,619	11,796	19,415	—	5	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	762	1,180	1,942	39.2	0.5	0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.4	令和7年 5月21日	8:00	14	6	20	70.0	14	0	70.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		9:00	45	4	49	91.8	49	4	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		10:00	41	1	42	97.6	42	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		11:00	25	1	26	96.2	26	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		12:00	20	6	26	76.9	26	6	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		13:00	23	8	31	74.2	25	2	80.6	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		14:00	21	1	22	95.5	22	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		15:00	17	1	18	94.4	18	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
		16:00	0	0	0	—	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	206	28	234	—	222	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	平均	23	3	26	88.0	24.7	1.8	94.9	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	

注：1. 騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。

：2. 騒音レベルのL_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルのL_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。

：3. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6 ＋ 廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。

：4. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

：5. 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

大気質調査結果

表 3－3 二酸化硫黄測定結果 （令和7年5月21日～5月27日）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月21日（水）	0.005	0.007	0.004	0.008
	5月22日（木）	0.004	0.005	0.002	0.003
	5月23日（金）	0.005	0.006	0.003	0.004
	5月24日（土）	0.004	0.005	0.002	0.003
	5月25日（日）	0.003	0.004	0.002	0.002
	5月26日（月）	0.004	0.005	0.003	0.004
	5月27日（火）	0.005	0.010	0.003	0.006
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.004		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.005		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.010		0.008	
1 時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－4 二酸化窒素測定結果 （令和7年5月21日～5月27日）

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月21日（水）	0.023	0.032	0.021	0.032
	5月22日（木）	0.011	0.027	0.010	0.025
	5月23日（金）	0.015	0.031	0.011	0.022
	5月24日（土）	0.004	0.009	0.007	0.011
	5月25日（日）	0.008	0.022	0.009	0.023
	5月26日（月）	0.019	0.039	0.016	0.030
	5月27日（火）	0.014	0.043	0.016	0.043
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値（ppm）		0.014		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値（ppm）		0.023		0.021	
1 時 間 値 の 最 高 値（ppm）		0.043		0.043	
1 時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0		0	
1 時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 、 0.06ppm 以 下 の 日 数（日）		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－5 一酸化窒素測定結果 (令和7年5月21日～5月27日)

(堺基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5月21日 (水)	0.018	0.062	0.016	0.059
	5月22日 (木)	0.004	0.015	0.005	0.018
	5月23日 (金)	0.004	0.009	0.005	0.009
	5月24日 (土)	0.000	0.001	0.003	0.008
	5月25日 (日)	0.001	0.005	0.005	0.011
	5月26日 (月)	0.007	0.028	0.013	0.042
	5月27日 (火)	0.006	0.026	0.013	0.051
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.009	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.018		0.016	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.062		0.059	

表 3－6 窒素酸化物(NO+NO₂)測定結果 (令和7年5月21日～5月27日)

(堺基地 令和7年5月調査結果)

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)		(ppm)	NO ₂ /NO _x (%)	
日 別 値	5月21日 (水)	0.041	56.5	0.091	0.037	55.9	0.085
	5月22日 (木)	0.015	74.7	0.042	0.015	65.2	0.043
	5月23日 (金)	0.019	79.3	0.039	0.016	68.4	0.031
	5月24日 (土)	0.005	90.8	0.010	0.010	66.4	0.019
	5月25日 (日)	0.010	85.3	0.024	0.014	65.3	0.032
	5月26日 (月)	0.026	71.8	0.065	0.029	56.0	0.068
	5月27日 (火)	0.019	70.8	0.068	0.029	55.8	0.094
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.019			0.021		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.041			0.037		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.091			0.094		
NO ₂ /(NO+NO ₂) (%)		70.0			59.8		

表 3－7 浮遊粒子状物質測定結果（令和7年5月21日～5月27日）

(堺基地 令和7年5月調査結果)					
測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	5月21日（水）	0.020	0.045	0.023	0.042
	5月22日（木）	0.007	0.021	0.005	0.020
	5月23日（金）	0.018	0.034	0.017	0.032
	5月24日（土）	0.011	0.019	0.012	0.032
	5月25日（日）	0.005	0.010	0.003	0.013
	5月26日（月）	0.009	0.017	0.008	0.022
	5月27日（火）	0.009	0.028	0.009	0.026
有 効 測 定 日 数（日）		7		7	
測 定 時 間（時間）		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.011		0.011	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.020		0.023	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.045		0.042	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数（時間）		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数（日）		0		0	

表 3－8 風向・風速観測結果（令和7年5月21日～5月27日）

(堺基地 令和7年5月調査結果)										
測 定 点		No. 1				No. 2				天候
項 目		風速			最多 風向 (16方位)	風速			最多 風向 (16方位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	5月21日 (水)	1.2	2.7	WNW	NNW	1.0	2.6	WNW	ENE	曇
	5月22日 (木)	2.0	4.2	NE	NE	1.7	4.6	SSW	E	曇時々晴一時雨
	5月23日 (金)	1.4	2.1	ESE, NNW	N	1.3	1.9	ESE	ESE	薄曇一時晴
	5月24日 (土)	1.6	2.7	ESE	E	1.1	1.8	ESE	ESE	雨時々曇
	5月25日 (日)	1.8	2.9	WNW	NNE	2.1	3.5	SE	ESE	曇時々雨
	5月26日 (月)	1.1	2.3	ENE	ENE	0.9	1.8	SE	SE	曇
	5月27日 (火)	1.9	3.8	ESE	ENE	0.9	1.6	NNE	SE	曇後一時晴
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		1.6			—	1.3			—	
期間最大風速 (m/s)		4.2			—	4.6			—	
期間最多風向 (16方位)		—			ENE	—			ESE	

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

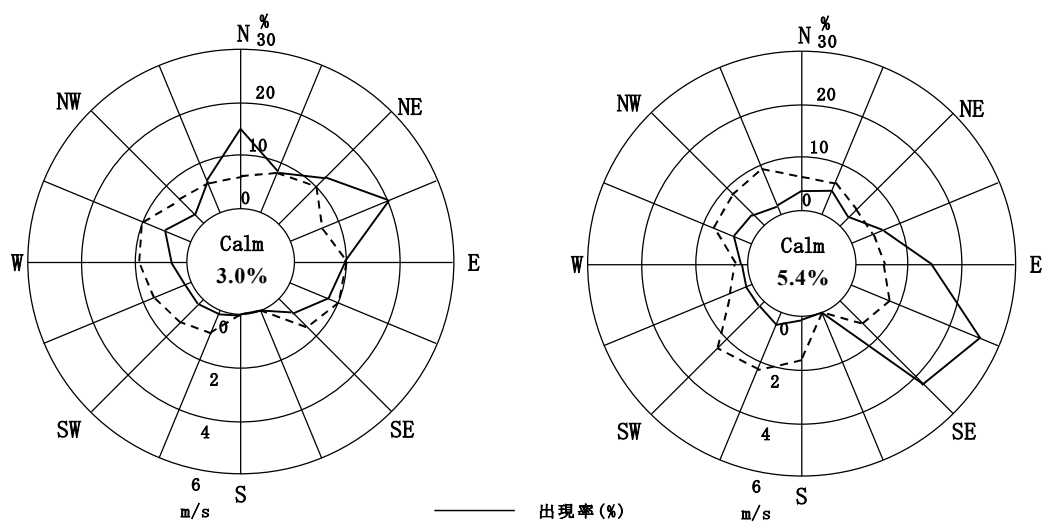
：2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 3 - 9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年5月21日～5月27日)

(堺基地 令和7年5月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	25	14.9	1.2	6	3.6	1.3
	NNE	14	8.3	1.6	8	4.8	1.3
	NE	21	12.5	2.0	4	2.4	0.9
	ENE	34	20.2	1.3	11	6.5	0.9
	E	16	9.5	2.0	24	14.3	1.1
	ESE	13	7.7	2.0	44	26.2	1.6
	SE	6	3.6	1.5	37	22.0	1.2
	SSE	—	—	—	—	—	—
	S	—	—	—	1	0.6	1.6
	SSW	1	0.6	0.9	4	2.4	2.3
	SW	2	1.2	1.2	2	1.2	2.5
	WSW	2	1.2	1.5	2	1.2	0.9
	W	5	3.0	1.8	2	1.2	0.5
	WNW	9	5.4	2.0	6	3.6	1.6
	NW	4	2.4	1.3	5	3.0	1.7
	NNW	11	6.5	1.2	3	1.8	1.9
calm		5	3.0	0.3	9	5.4	0.2
total		168	100.0	1.6	168	100.0	1.3

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

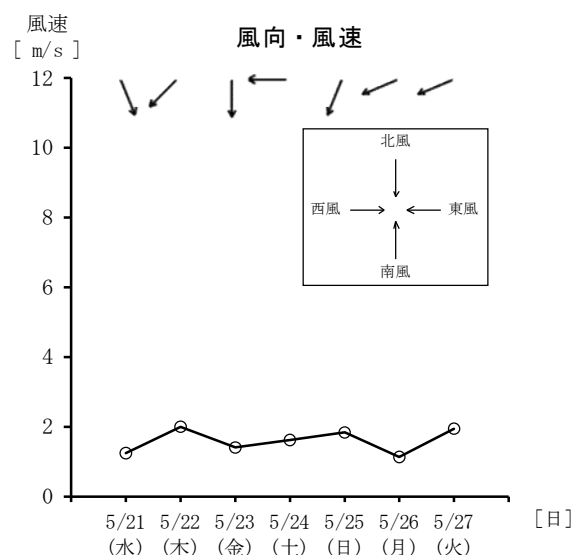
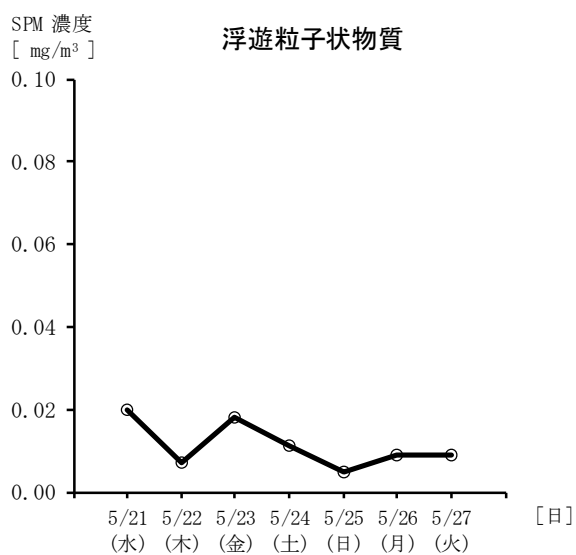
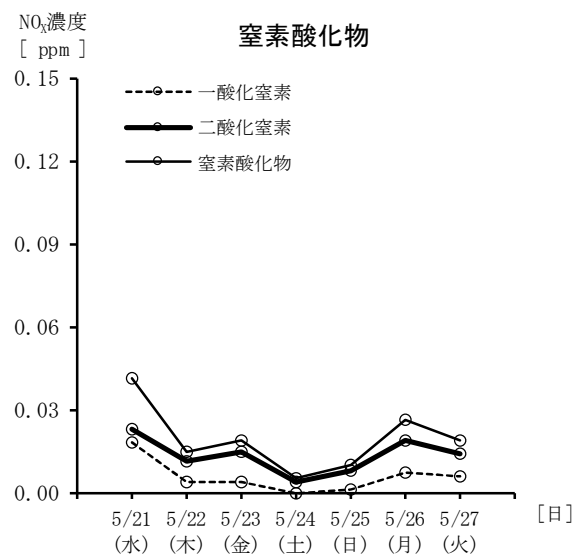
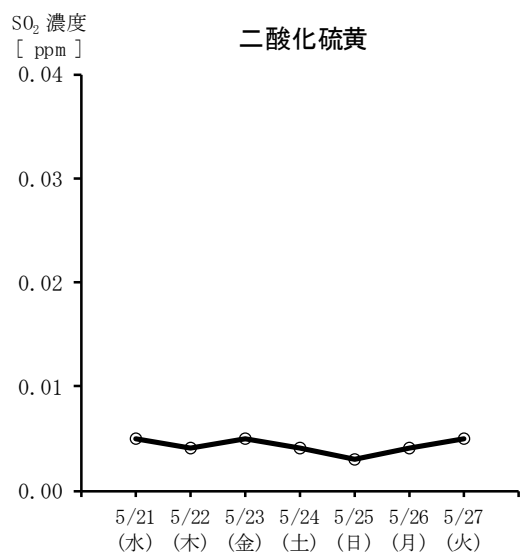


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。----- 平均風速(m/s)

測定点 No. 1

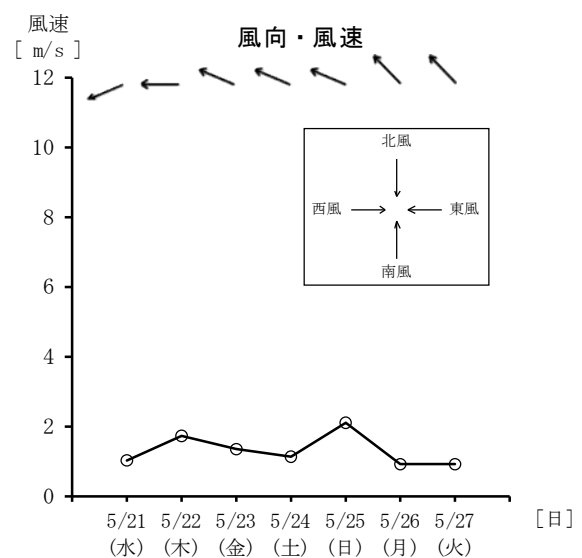
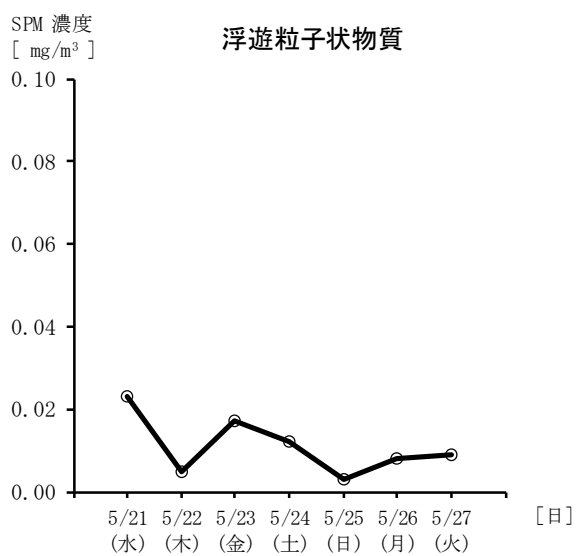
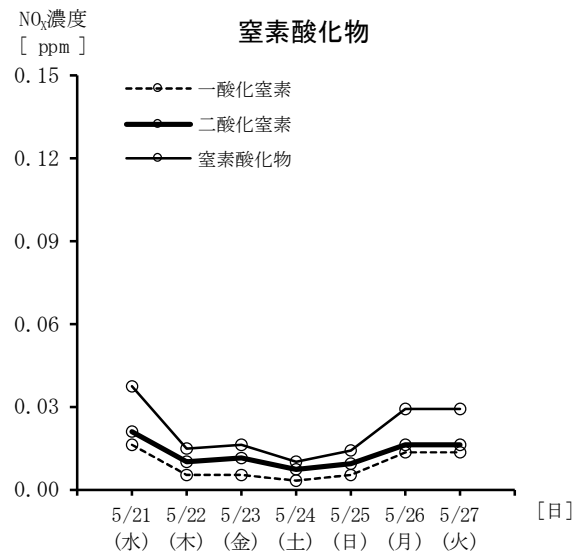
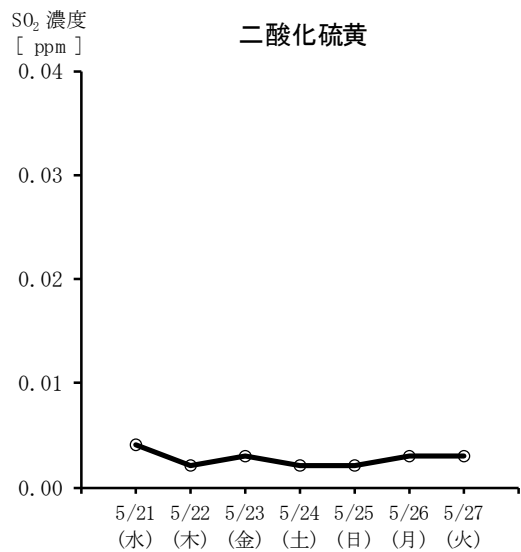
測定点 No. 2

図 3 - 2 風配図と風向別平均風速 (令和7年5月21日～5月27日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年5月21日～5月27日)



測定点 No. 2

図 3 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年5月21日～5月27日)

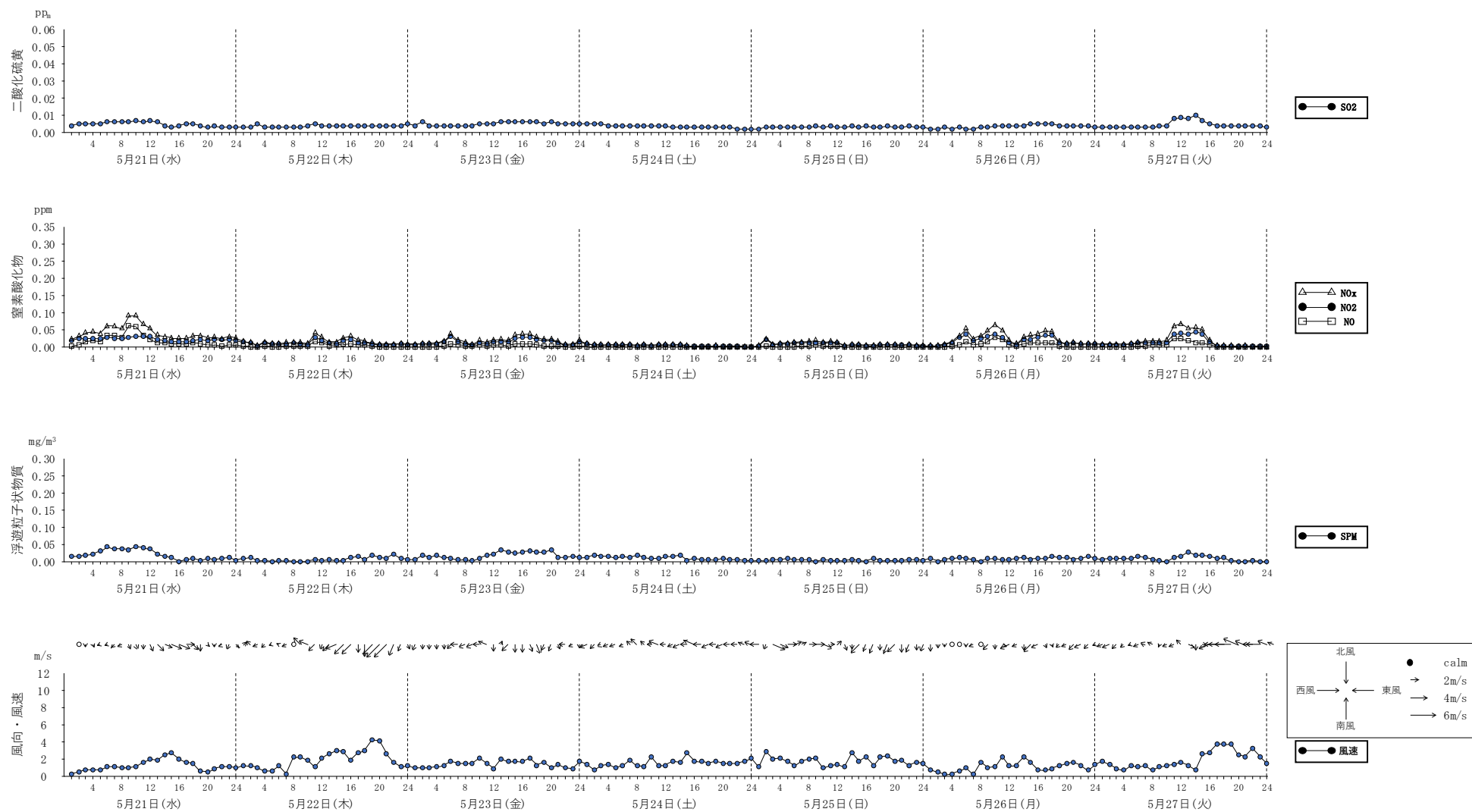


図 3－5 大気質・気象時系列変化図 (令和7年5月21日～5月27日) 測定点 No. 1

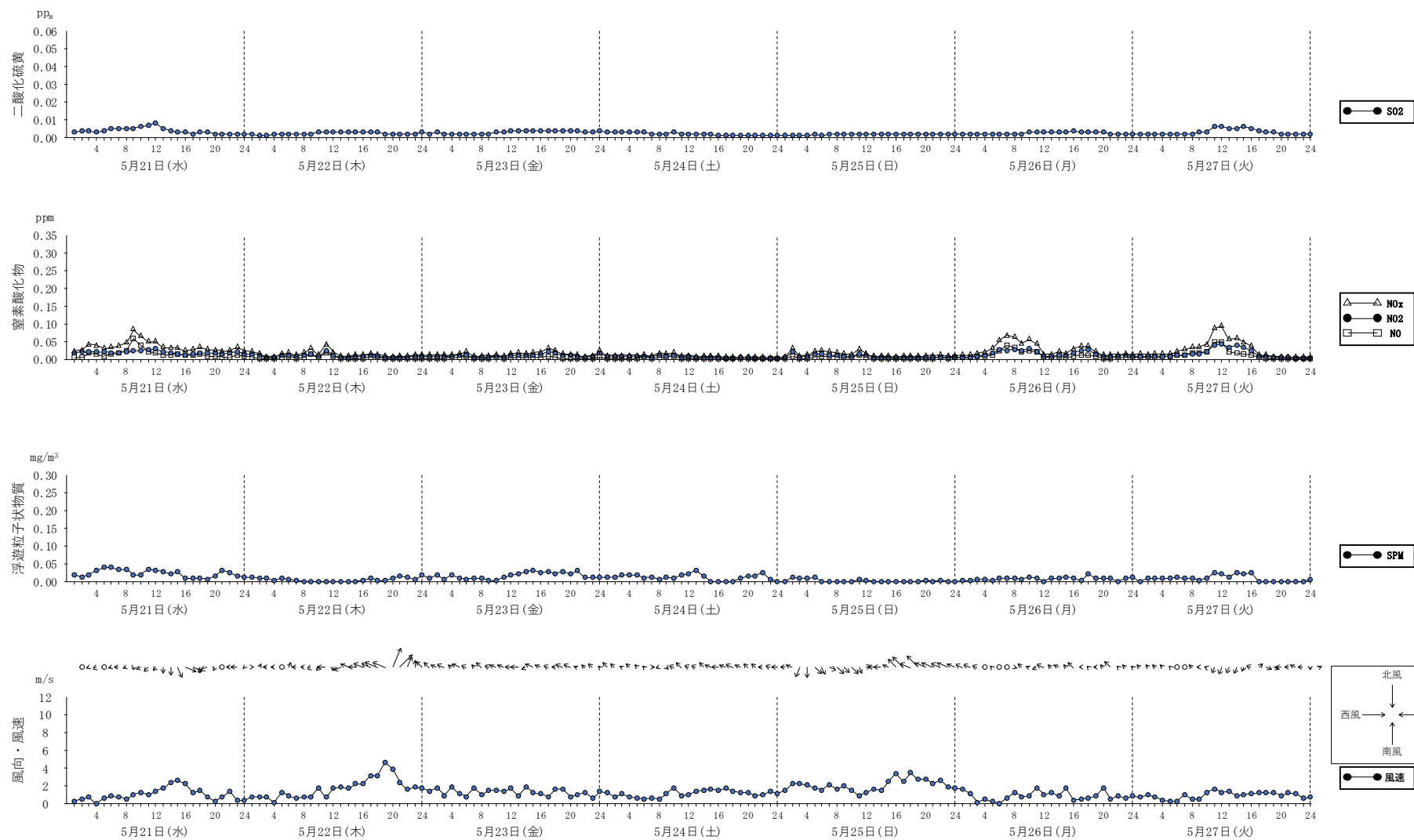


図 3 - 6 大気質・気象時系列変化図 (令和7年5月21日～5月27日) 測定点 No. 2